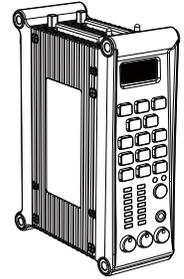


www.aja.com

# ***KiPRO*mini**



Published: 1/27/11

## ユーザーズ マニュアル

Because it matters.

**AJA**<sup>®</sup>  
VIDEO SYSTEMS

## 商標

---

AJA、Kona および XENA は、AJA Video Systems 社の登録商標です。その他本ドキュメントに掲載のメーカー名または製品名等は、名称を所有する企業・団体などの商標である場合があります。

## 著作権

---

Copyright © 2011 AJA Video Systems, Inc. 無断転載禁止。本マニュアルに記載したすべての情報は、予告なしに変更されることがあります。AJA Inc. の明示的な書面による許可なしに、本書のいかなる部分も、コピーや録音を含む、電子的または機械的な、いかなる形あるいは手段によっても、複製したり、送信したりすることは禁じられています。

## サポート窓口

---

株式会社 アスク・アスク DCC サポートセンター  
TEL: 03-5215-5694  
FAX: 03-6672-6858  
メール : dcc@ask-corp.jp  
営業時間 : 平日 10:00 ~ 17:00 (12:00 ~ 13:00 を除く)  
AJA 日本語サイト <http://www.aja-jp.com/>  
AJA サイト <http://www.aja.com/>

## 製品保証

品質と精度、カスタマーサポートを重視する AJA Video Systems（エイ・ジェイ・エイ・ビデオシステムズ）社は、本製品に購入日から 3 年間の保証期間を設けています。

保証期間内に正常なご使用状況のもとで万一故障が発生した場合には、アスク DCC サポートセンター、もしくは本製品を購入された販売店へお問い合わせ下さい。以下の保証規定に基づき、保証期間内は無償にて修理を承ります。

### 【アスク保証規定】

1. 本マニュアル記載の注意事項を守り正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合は、無償修理いたします。
2. 保証期間は、製品に付属の保証書に記載されたご購入日から始まります。
3. 保証期間内でも次のような場合は、有償修理となります。
  - 1) 保証書のご提示が無い場合。
  - 2) 保証書の保証期間、お客様名、販売店印の無い場合。
  - 3) あるいは、保証書に記載の字句を書き換えられた場合。
  - 4) シリアル番号や製品型番シールを故意に剥がしている場合。
  - 5) 使用上の誤り、及び不当な修理改造による故障や損害。
  - 6) お買い上げ後の落下、水没等による故障損害。
  - 7) 火災、または天災による故障や損傷。
  - 8) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
4. この保証規定は日本国内においてのみ有効です。 This warranty valid only in Japan.
5. 保証の範囲は、本製品の修理、交換、または同等機能の製品との代替交換に限ります。また、本製品の故障に起因するデータ損失などの付随的損害については、一切保証は致しません。
6. 本製品の故障や使用上に生じた直接、間接的な損害につきましては、当社は一切その責任を負わない物とします。



# 目次

商標	ii
著作権	ii
サポート窓口	ii
製品保証	iii
第 1 章 はじめに	
概要	5
機能	6
ハードウェア	6
ソフトウェア	6
オプション	7
Apple ProRes 422 のメリット	7
パッケージの内容	8
システム要件	9
推奨 CF カード	9
Ki Pro Mini オプション	9
マウントプレート	9
スタンドとアダプタケーブル	9
本マニュアルの内容	9
第 2 章 ご使用の前に	
概要	11
コントロールとコネクタ	12
操作面	12
ボタン	13
ディスプレイとインジケータ	15
接続面	16
コネクタ	16
LTC タイムコード入力	16
SDI 入出力	16
HDMI	17
アナログ 2チャンネルバランスオーディオ入力	17
Ethernet	17
LANC Loop	17
電源コネクタ	18
ストレージ	19
メディアのフォーマット	19
Ki Pro Mini のメディアを Final Cut Pro で使う	19
設置	20
据え置き	21
カメラマウント	21
電源の供給	22
AC 電源を使うには	23
DC 電源を使うには	23
リモートネットワークコントロール	24
ネットワーク接続	24
TCP/IP 情報	25

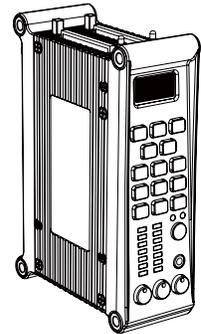
DHCP 経由のネットワーク接続 .....	25
固定 IP アドレスによるネットワーク接続.....	26
工場設定のデフォルト IP によるネットワーク接続 .....	27
Ping によるネットワーク接続テスト .....	27
Mac での Ping 操作 .....	27
WEB ブラウザからのコントロール.....	27
<b>第 3 章 正面パネル操作</b>	
<b>トランスポートモード (デフォルト) .....</b>	<b>30</b>
クリップの収録 .....	31
収録に関する注意 .....	32
クリップの再生 .....	32
クリップの削除 .....	33
<b>STATUS メニュー .....</b>	<b>33</b>
収録モード (トランスポート) .....	33
アラームステータス .....	33
<b>MEDIA メニュー.....</b>	<b>36</b>
<b>MEDIA メニューパラメータ .....</b>	<b>36</b>
14.1 ENCODE TYPE.....	36
15.1 PLAY MEDIA.....	36
15.2 LOOP PLAY.....	36
16.1 FORMAT MEDIA .....	36
16.2 DELETE CLIPS .....	37
17.0 REEL NAME .....	37
17.2 CLIP NAME .....	37
クリップ名の例 .....	37
17.3 CLIP NUMBER .....	38
17.4 CLIP APPEND.....	39
17.5 ALPHA APPEND .....	39
17.8 TAKE .....	39
<b>カスタムクリップネーミング .....</b>	<b>39</b>
19.1 CUSTOM CLIP .....	40
19.2 CUSTOM NAME .....	40
19.4 CUSTOM TAKE.....	40
22.1 GANG CLIP NAME .....	40
<b>CONFIG メニュー .....</b>	<b>41</b>
<b>CONFIG メニューパラメータ .....</b>	<b>41</b>
1.1 RECORD TYPE.....	41
1.3 1080p PLAYBACK.....	42
2.1 VIDEO INPUT .....	42
2.2 AUDIO INPUT .....	42
2.3 AUDIO CHANNELS.....	42
4.1 ANALOG AUDIO .....	43
6.1 GENLOCK .....	43
8.0 TC IN .....	43
8.1 TC VALUE .....	44
8.2 TC TYPE .....	44
8.3 ARM RECORDING .....	44
13.1 CAMERA DATA.....	45

13.1 対応可能なカメラについての重要なご注意	46
41.1 VIDEO SG FRMT	46
41.2 VIDEO SG	47
41.3 AUDIO SG	47
50.1 IP CONFIG	47
50.2 IP ADDRESS	48
50.3 SUBNET MASK	48
50.4 STATIC GATEWAY	48
50.5 SYSTEM NAME	49
50.6 MAC ADDRESS	49
55.4 DATE SET	49
55.6 TIME SET	50
70.2 DISPLAY INTENSITY	50
70.3 FAN SPEED	50
80.1 SERIAL NUMBER	51
80.2 SW VERSION	51
99.0 FACTORY RESET	51
<b>第 4 章 ブラウザからのリモートコントロール</b>	
リモートコントロールの概要	51
Ethernet 経由の WEB ブラウザ	51
共通画面情報	52
複数の Ki Pro Mini のコントロール	52
ギャングレコーディング	53
ギャングレコーディングの使いかた	53
設定値を工場設定に戻す	55
Config 画面	56
Media 画面	59
Transport 画面	60
Network 画面	62
Clips 画面	63
Update Firmware 画面	64
ソフトウェア更新の準備	64
Ki Pro mini にソフトウェアをアップロードしてインストールするには	65
<b>付録 A : 仕様</b>	
ビデオ入力	A-1
デジタル	A-1
ビデオ出力 (すべて同時出力可能)	A-1
デジタル	A-1
フォーマット	A-1
オーディオ入力	A-1
デジタル	A-1
アナログ	A-1
デジタル	A-1
オーディオ出力	A-2
デジタル	A-2
ネットワーク	A-2
パネル表示 (UI)	A-2

ストレージ .....	A-2
タイムコード .....	A-2
コントロール .....	A-2
温度 .....	A-2
電源 .....	A-2
寸法・重さ .....	A-3
付録 B : 安全とコンプライアンス	
Federal Communications Commission (FCC) Compliance Notices .....	B-1
Class A Interference Statement .....	B-1
FCC Caution .....	B-1
Canadian ICES Statement .....	B-1
European Union and European Free Trade Association (EFTA) Regulatory Compliance .....	B-2
Declaration of Conformity .....	B-2
Korea KCC Compliance Statement .....	B-3
Taiwan Compliance Statement .....	B-3
コンプライアンス（日本） .....	B-3
注意、警告、危険メッセージの標記 .....	B-3
Ki Pro Mini をお使いになる前に .....	B-4

# 第1章 はじめに

**KiPROmini**



## 概要

Ki Pro Mini は、Apple ProRes422 という編集で使用するコーデックと同じコーデックで収録し、撮影現場とポストプロダクションをダイレクトに繋ぐ、最新のテープレスメディアレコーダです。最も小型のカメラと 10bit レコーダを組み合わせた超小型のシステムを提供します。Ki Pro Mini は、HQ、LT、Proxy を含む Apple ProRes 422 の 4 つのタイプに対応する、Ki Pro シリーズで最もコンパクトで強力な製品です。SDI や HDMI カメラのフォーマットに関係なく、Apple Final Cut Studio 編集に最適な Apple ProRes 422 というコーデックで収録し、簡単にポストプロダクションに移行することができます。高品質なデジタル接続により、真のポータブル・デジタルキャプチャを可能にしています。

小型で機動性の高い Ki Pro Mini は、即座に編集が可能なプロフェッショナルデジタルビデオ制作のためのフィールドレコーダです。Ki Pro Mini は、Apple ProRes 422 QuickTime ファイルを、標準的なコンパクトフラッシュ (CF) メディアに記録することによって、Apple ファイルベースのワークフローをサポートします。収録に使用するコンパクトフラッシュカード (CF) は Mac 標準の HFS+ でフォーマットされており、一般的な CF カードリーダーで Mac と接続することができます。

Ki Pro Mini は小型軽量で、さまざまな形でカメラや収録機材に取り付けが可能です。ワイヤレスマイクのプレート、バッテリーアダプタのプレート、サードパーティ製のシューアダプタにマウントできます。

Ki Pro はハードウェアで Apple ProRes 422 コーデックにネイティブ対応しており、ダイレクト且つリアルタイムに Apple ProRes 422 QuickTime ファイルへキャプチャすることができます。カメラ本体のテープやファイルベースのメモリへの記録と同時に、Ki Pro Mini は同じ素材を ProRes としてキャプチャすることができ、コンパクトフラッ

シュ (CF) を Mac に接続するだけで編集を開始することができます。こうした柔軟性によって、時間や手間を省け、より早く高品質なプロジェクトを完成できます。

AJA の既存の KONA および Io HD といったデスクトップ製品と同様に、Ki Pro Mini は比類ないコネクティビティを提供します。持ち運び可能な頑丈なボディに、放送品質の HD/SD-SDI および HDMI を含む SD/HD デジタル入出力、ラインレベルとマイクレベルをスイッチで切り替え可能なバランスドアナログオーディオ 2 チャンネル (XLR)、LTC タイムコード入力を備えています。

各種コントロールにも柔軟に対応し、正面パネルまたは Ethernet 10/100/1000 (RJ45 コネクタ) 接続で、Mac や PC の WEB ブラウザから、簡単に設定やリモートコントロールを行うことができます。

本書では、Ki Pro Mini およびオプションのアクセサリの設置と操作について説明します。

## 機能

Ki Pro Mini は、高品質と操作性を迫及した数々の機能を備え、多種多様なワークフローおよび環境をサポートします。標準、高解像度どちらの収録にも柔軟に対応し、SD/HD が混在した環境での多様なオペレーションが可能です。また非常に小型で、入手が容易なデバイスを使用しています。

## ハードウェア

- Apple ProRes 422 および Apple ProRes 422 HQ、Apple ProRes 422 LT、Apple ProRes 422 Proxy コーデック (SD、HD 720/1080、フル解像度 10bit 4:2:2、リアルタイム処理) にハードウェアで対応
- HD/SD-SDI 入出力 (BNC × 2)
- HDMI 入出力 (HDMI × 2)
- 2 チャンネルバランスドアナログ オーディオ入力 (XLR × 2)
- LTC 入力 (BNC × 1)
- 10/100/1000 Ethernet LAN
- 15 個のコントロールボタン、LCD ディスプレイ
- コンパクトフラッシュ (CF) : 2 スロット。業界標準の CF カードリーダーを Mac (HFS+ ファイルシステム) または PC (HFS+ をマウントするためにサードパーティ製のソフトウェア使用) に接続。LED インジケータで使用中のスロットを表示。
- 業界標準 4 ピン XLR コネクタの 12 V AC/DC 変換アダプタ (本機底面のコネクタで接続)
- 3 年間保証

## ソフトウェア

- リモートブラウザコントロールソフトウェア。Mac® や PC、その他の機器を Ki Pro Mini の Ethernet ポートに接続すると、WEB ブラウザを介して Ki Pro Mini をコントロール可能。
- LAN を介してコントロールが可能な内蔵 WEB サーバを搭載。

## オプション

- **スタンド**: Ki Pro Mini を棚や水平な場所おくためのオプションです。スタンドには L 字型の DC パワーアダプターが付属しています。Ki Pro Mini の底面にあるコネクタに接続し、付属の Ki Pro Mini AC アダプタを接続できるようにします。
- **マウントプレート**: Ki Pro Mini の側面どちらにも取り付けることができます。多数の取付穴で、業界標準のバッテリープレート、ホットシューアダプタ、さまざまなカメラのアクセサリに取り付けることができます。

## Apple ProRes 422 のメリット

データレート: Apple ProRes422 HQ - 220Mb/ 秒、Apple ProRes422 - 145Mb/ 秒、Apple ProRes422 LT - 100Mb/ 秒、AppleProRes422 Proxy - 36Mb/ 秒

**注**: Apple ProRes 422 Proxy は、オリジナル同等のフレームサイズ、フレームレート、アスペクト比を持つ、高品質なオフライン編集に最適なコーデックです。Apple ProRes (LT) は Apple ProRes や Apple ProRes (HQ) と同等の品質は得られません。

品質: 放送用高品質

キャプチャしたメディアは、元の非圧縮のソースと実質的な差はありません。さらに ProRes は編集でも品質を保持し、世代劣化することなく繰り返しエンコード・デコードを行えます。通信・配信より、編集を優先して Apple が開発したコーデックです。以下のようなメリットがあります。

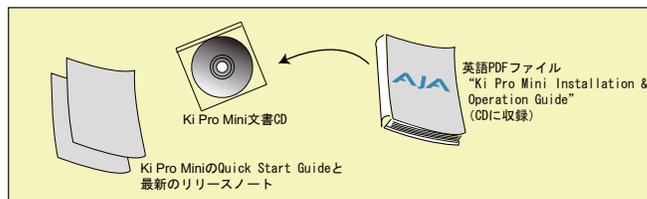
- HD フル解像度 1920 × 1080 および 1280 × 720 に対応します。
- SD フル解像度 720 × 486 および 720 × 576 に対応します。
- 4:2:2 クロマサンプリング: シャープなカラーエッジで正確な画像合成を実現します。
- 10 bit サンプリング: 10 bit ソースの微妙な階調を保持します。(グリーンバック合成やグラフィック、カラーコレクションに最適です。)
- I frame-only エンコーディング: 個々のフレームで安定した品質が得られ、複雑な動きでもアーチファクトを回避します。
- 可変ビットレート (VBR) エンコーディング: 効率的なエンコーディングによって、イメージを分析し、より高いビットレートを複雑なフレームに割り当てます。
- 低データレートによって、各種ストレージを選択でき、少ないスペースで高品質ビデオを保存できます。
- 高効率のリアルタイムエフェクトに最適化されています。

## パッケージの内容

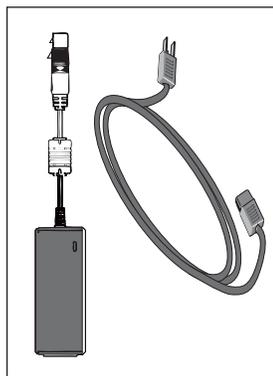
AJA Ki Pro Mini のパッケージには、次のものが入っています。

- Ki Pro CD-ROM : この CD には PDF 形式のマニュアル（英語版）が収録されています。
- Ki Pro Mini の Quick Start Guide : 初めて本機を使うときに、すぐに使用するために必要な設定の簡単なインストラクションです。
- Ki Pro Mini 本体
- 業界標準の 4 ピン XLR コネクタ付き AC アダプタ : Ki Pro Mini に電源を供給します。電源コード付属。
- 登録用紙 : メールやオンライン（詳細情報が提供されます）によるユーザー登録用です。

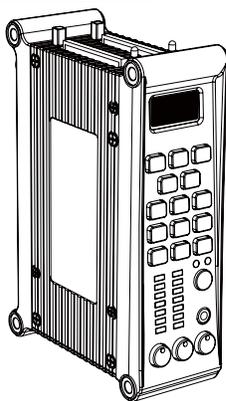
Ki Pro Mini のパッケージや梱包材は保管しておいてください。修理に出す際や、システムの移動時には、この梱包材を使用して安全に輸送してください。



ACアダプタと電源コード



Ki Pro Mini本体



### Ki Pro Mini 梱包品



**警告 :**

製造元が指定・販売しているアタッチメントやアクセサリ以外は使用しないでください。



**警告 :**

製品にマークされたり文書に記載されている注意や指示にはすべて従ってください。

**警告：**

本機を水の近くで使用しないでください。拭くときは必ず乾いた布を使用してください。

## システム要件

Ki Pro Mini は Apple ProRes 422 QuickTime ファイルを業界標準のコンパクトフラッシュ (CF) カードに収録し、再生します。ファイルは、Apple HFS+ ファイルシステムで CF カードに保存されます。これで、CF カードリーダーを接続した Mac でも、HFS+ フォーマットしたドライブを読み込めるサードパーティのソフトウェア（例えば MacDrive）を使って PC でもカードを読むことができます。

### 推奨 CF カード

使用する CF カードは十分なレベルの性能が必要です。以下の WEB サイトで推奨 CF カードの一覧をご覧いただけます。

[http://www.aja.com/pdf/KiProMini\\_qualifiedCF\\_cards.pdf](http://www.aja.com/pdf/KiProMini_qualifiedCF_cards.pdf).

## Ki Pro Mini オプション

### マウントプレート

このプレートを使うと、Ki Pro Mini をサードパーティの機器に取り付けることができます。付属の 4 本のネジで Ki Pro Mini に取り付けます。左右どちらの側面に付けることもできます。プレートにはたくさんのネジ穴があり、サードパーティのバッテリープレート、ホットシューアダプタ、その他の機器への Ki Pro Mini のマウントを可能にしています。

### スタンドとアダプタケーブル

Ki Pro Mini を机や棚、水平な場所に設置するときを使用します。L 字型電源ケーブルは、標準の Ki Pro 用の電源と Ki Pro Mini の接続を容易にします。

## 本マニュアルの内容

第 1 章は、今お読みいただいている章で、特徴、パッケージの内容、システム要件などが記載されています。

第 2 章は、Ki Pro Mini の起動と、操作面でのコントロール、接続面の機能を紹介します。

第 3 章では、Ki Pro Mini を操作面から操作する方法と LCD 表示を説明します。

第 4 章では、Ethernet を介して WEB ブラウザで Ki Pro Mini をリモートコントロールする方法を説明します。

付録 A : 仕様

付録 B : 安全とコンプライアンス



## 第 2 章 ご使用の前に

### 概要

Ki Pro Mini を使用するときは、用途に応じて各種機器をメディアケーブルで接続します。第 2 章、第 3 章では、Ki Pro Mini の操作方法と多くの設定項目について説明します。本章では、コンフィグレーション、電源、インジケータ、操作つまみ、コネクタ類について紹介し、Ki Pro Mini を使って収録現場とポストプロダクションをつなぐために必要な情報を提示します。

前面パネルのインジケータの表示で、操作モードや Ki Pro Mini の状態を確認したり、エラーの原因などを知ることができます。操作パネルやコネクタ類を理解すると、システムの設置や設定、システム運用が容易になります。

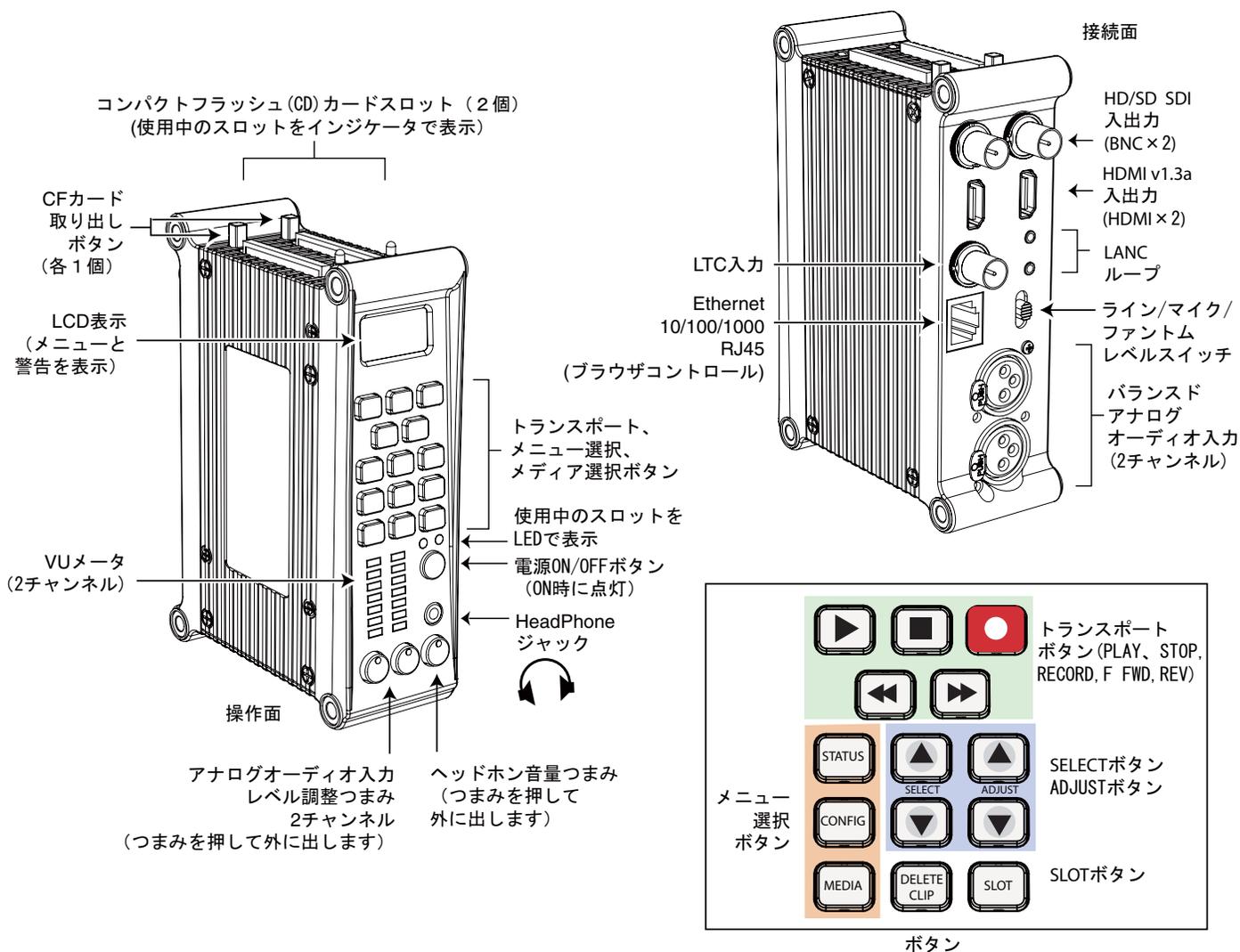
次のページから、正面および背面パネルのすべてのコネクタとインジケータを、簡単なコメント入りの図で示します。それぞれのコネクタおよびインジケータについては詳しくは、図の後の文章で説明します。



#### 注意：

AJA Ki Pro Mini 内部にはリチウム電池が半田付けされています。(交換はできません。) Ki Pro Mini を廃棄するときは、地域で定められた方法に従って廃棄してください。リチウム電池を、直射日光や火など、高温にさらさないでください。

## コントロールとコネクタ



### Ki Pro Mini 操作面 (正面パネル)

#### 操作面

Ki Pro Mini の操作面には、Ki Pro Mini を直接操作するための様々なボタン、つまみ、端子、およびインジケータが備えられています。それぞれについて、以下に説明します。この部分は、カメラにマウントしたときカメラのオペレータが操作する部分と対応するため、「操作面」と呼びます。カメラの機能をコントロールするときも、Ki Pro Mini の全コントロール機能を把握することによって、操作が容易になります。

Ki Pro Mini の正面パネルは、トランスポートモード (デフォルト) とメニューモードの2つのモードで動作します。モードによって異なる働きをするつまみもあります。トランスポートモードでは、基本的な再生、収録、クリップ選択などの機能をコントロールします。メニューモードは、Ki Pro Mini のセットアップおよび調整のためのモードです。STATUS、CONFIG、MEDIA の3系統のメニューがあります。これらのメニューは、ディスプレイの左側の対応するメニューボタンを押すことによって呼び出します。

## ボタン

**電源 ON/OFF ボタン:** システムの電源を ON/OFF し、電源の状態を表示します（電源 ON で点灯）。電源を ON にするときは、ボタンを 1 回押します。強く押ししたり押し込む必要はありません。内部プロセッサによるセンサ式のソフトボタンです。電源 OFF のときにボタンに触れると、スタートアップ処理が始まり、文字表示部に起動状況が表示されます。

電源を切るときは、電源ボタンを 2 秒間押し続ける必要があります。この動作によって、通常の使用時に誤って電源が切れるのを防ぐことができます。パワーダウン中でも 2 秒経つ前にボタンから手をはなせば、パワーダウンプロセスを中止することができます。

**STATUS ボタン:** 点灯していないときに押すと、STATUS メニューになり、Idle、Record、Play 表示が現れます。点灯しているときに押すと、STATUS メニューを抜け、トランスポートモードに戻ります。STATUS メニューは、トランスポートモードで動作している場合を含め、いつでも呼び出すことができます。表示部に表示されるアラーム状況は、STATUS メニュー時でも共通です。選択ボタンを使用して、アラームと入出力のステータスを順次切り替えることができます。メニューおよび正面パネルの操作については、第 3 章で説明します。

**CONFIG ボタン:** 点灯していないときに押すと、CONFIG メニューに入ります。点灯しているときに押すと、CONFIG メニューを抜け、デフォルトのトランスポートモードに戻ります。CONFIG メニューは、STOP モードからのみ呼び出すことができます。CONFIG メニューでは、メニューを抜けたときのパラメータを記憶し、再度メニューに入ったときは同じパラメータに戻ります。

**MEDIA ボタン:** 点灯していないときに押すと、MEDIA メニューに入ります。点灯しているときに押すと、MEDIA メニューを抜け、デフォルトのトランスポートモードに戻ります。MEDIA メニューは、STOP モードからのみ呼び出すことができます。MEDIA メニューでは、メニューを抜けたときのパラメータを記憶し、再度メニューに入ったときは同じパラメータに戻ります。

**トランスポートコントロールボタン:** これらのボタンは常に有効です。

**STOP ■:** STOP ボタンには 2 つの機能があります。クリップ再生 (PLAY、FF、または REV) 時は、STOP を 1 回押すと PAUSE モードになります。再生が一時停止し、クリップの現在点が表示され、STOP ボタンが点滅します。もう 1 回 STOP ボタンを押すと、再生が完全に停止し、Ki Pro Mini の出力は E to E モード（現在選択されている入力そのまま出力されるモード）になります。STOP ボタンが点滅している場合は、PAUSE モード（一時停止状態）です。STOP（停止）モードでは、STOP ボタンは点灯状態になります。

**PLAY ▶:** PLAY ボタンを押すと、現在のクリップを標準速度で再生します。

**RECORD ●:** 赤い REC ボタンを押すと、収録を開始します。RECORD モードに入ると、STOP ボタンを除く他の動作ボタンはロックされます。

**FFWD ▶▶:** F FWD ボタンを押すと、現在のクリップの 2 倍速の高速再生が始まります。押すごとに、4 倍速、8 倍速、16 倍速に切り替わります。（16 倍速になったあとは、ボタンを押しても動作は切り替わりません。）高速再生中は、オーディオはミュートされます。

**REV ◀◀:** 点灯していないときに REV ボタンを押すと、現在のクリップのリバーズ再生が始まります。押すごとに、2 倍速、4 倍速、8 倍速、16 倍速に切り替

わります。(16倍速になったあとは、ボタンを押しても動作は切り替わりません。)リバース再生中は、再生速度に関わらずオーディオはミュートされます。



**SELECT Up/Down ボタン:** この2つのボタンは、Ki Pro Mini がポートモードかメニューモードかによって機能が異なります。ポートモードでは、SELECT ボタンは、クリップ選択の前キー、次キーとして機能します。クリップを選択すると、選択したクリップを頭出しします。クリップの再生順は、クリップの名称ではなく、タイムスタンプ(作成日)に基づいて決定されます。メニューモードでは、調整するパラメータをSELECT ボタンで選択します。どちらかのボタンを押し続けると、上記の動作を繰り返します。

**ADJUST Up/Down ボタン:** この2つのボタンは、Ki Pro Mini がポートモードかメニューモードかによって機能が異なります。ポートモードで一時停止状態(PLAY モードでSTOP ボタンを1回押す)になっているときは、ADJUST ボタンを押すと、押すごとに現在のクリップを1フレームずつフレーム送りします(Up ボタン: 正方向、Down ボタン: 逆方向)。メニューモードでは、選択されているパラメータをADJUST ボタンで調整します。どちらかのボタンを押し続けると、上記の動作を繰り返します。

**DELETE CLIP ボタン:** 現在選択されているクリップを削除するときのみ使用します。押すと、確認メッセージ"ARE YOU SURE?"が表示されます。削除を実行するときは、ADJUST Up ボタンを押します。削除を中止するときは、ADJUST Down ボタンを押します。クリップを削除すると、次のクリップが選択されます。確認メッセージ"ARE YOU SURE?"が表示されている状態でDELETE CLIP ボタン、STOP ボタンなど、ADJUST Up ボタン以外のボタンを押すと、削除がキャンセルされます。

DELETE CLIP ボタンは、ポートモード、メニューモードのどちらでも有効です。ポートモードで現在動作中(PLAY、REV、FF、またはRECORD)のクリップに対してボタンを押した場合は、確認メッセージ表示後ADJUST Up ボタンで実行するまでは動作が継続されます。

**SLOT ボタン:** 2つの用途があります。一つ目は、使用するスロット(CF スロット1または2)を選択します。二つ目は、現在選択されているスロットからCFカードをアンマウントするときに使用します。



**注意:**

SLOT ボタンでアンマウントしないでメディアを取り外すと、メディアが取り外されたかどうか確認できなくなる場合があります。

SLOT ボタンを押すごとに、メディアのアンマウント機能とメディア選択機能が切り替わります。この機能はSTOPモードのときのみ有効で、停止していない場合には、"PRESS STOP"と警告メッセージが表示されます。スロットを選択すると、そのスロットで最後に選択されていたクリップとタイムコードの表示に戻ります。スロット内のメディアが最後に選択されていたものとは別のメディアに入れ替えられていた場合(物理的に取り外し/メディアを交換)は、メディアの先頭クリップの開始ポイントが選択されます。装着されているメディアに問題がある場合は、状況に応じてメッセージが表示されます。

例 : WARNING Backup and Reformat または WARNING Media Unformatted.

**注 :** 電源起動時は、自動的に CF スロット 1 が選択されます。

CF スロットリリースボタン: 各 CF スロットの隣にあり、押して CF カードを取り出します。CF カードがアンマウントしているときだけ押すことができます。



**注意 :**

LED が点灯または点滅しているときに CF カードを取り出すと、メディアが壊れるか、CF カードが損傷する可能性があります。

アナログオーディオ入力レベル調整つまみ: VU メータの下つまみを使用して、オーディオ 2 チャンネルのそれぞれのアナログ入力レベルを調整します。

**注 :** これらのつまみは、SDI および HDMI にエンベデッドされたデジタルオーディオには影響ありません。

アナログオーディオレベルを調整するときは、つまみを押して外に出します。これは使用環境の変化による誤動作を防ぐためです。

ヘッドホン音量つまみ: ヘッドホンの音量を調整するときは、アナログオーディオ入力レベル調整つまみと同様に、つまみを押して外に出します。

## ディスプレイとインジケータ

文字およびグラフィック表示: メニューとステータス、警告、その他の情報を 3 行で表示します。メニューはすべてこの範囲で表示されるため、文字が省略される場合があります。

VUメータ: 2チャンネルのアナログオーディオの入力レベルを、それぞれ7セグメントLEDで表示します。メータの下つまみで、クリッピングしない適正な信号レベルになるように、チャンネルごとに入力レベルを調整できます。

緑: オーディオソースの信号レベルは安全な範囲です (クリッピングなし)。緑の LED の上下で信号の強さを表します。通常は、なるべく緑の最上段の LED が点灯し、ピーク時に黄色 LED が点灯するようなレベルに信号を調整することをお勧めします。

黄色: オーディオソースの信号レベルが、クリッピングが生じる可能性のある直前のレベルです。

赤: オーディオソースのレベルが高すぎて、信号のピーク時にクリッピングします。ソース (カメラ、ミキサーなどの信号供給源となる機器) 側で入力ゲインを下げてください。

CF カード LED ステータス表示: CF メディアの状態を、LED の状態で以下のように示します。

LED 点灯: メディアが選択されています。

LED 消灯: メディアは選択されていないため取り出すことができます。あるいはメディアが装着されていません。

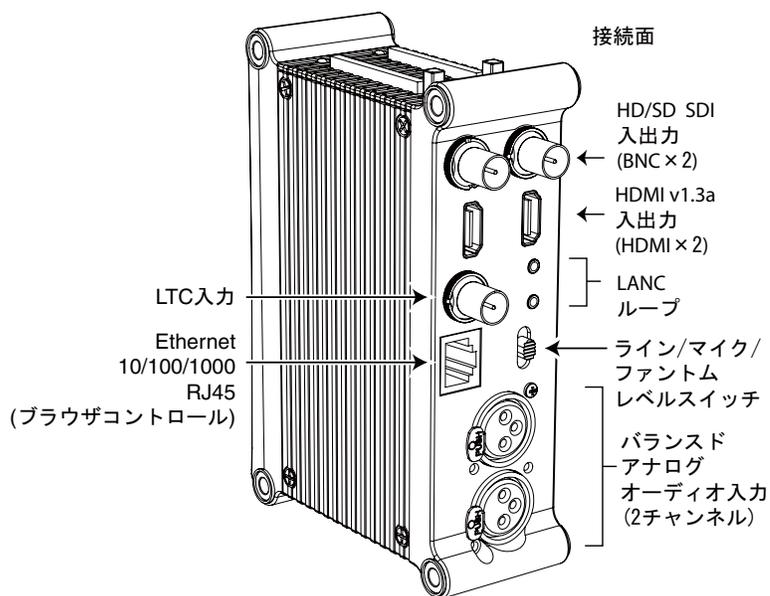
LED 点滅: 収録実行中です。

HeadPhone ジャック: 標準ステレオヘッドホン用 1/8 インチ (3.5mm) ミニステレオ TRS コネクタです。

## 接続面

各社の様々なフォーマットのデジタルカムコーダ、カメラ、またはオーディオ / ビデオソースを、Ki Pro Mini の SDI または HDMI コネクタに接続できます。Ki Pro Mini の接続面には電源以外のすべてのコネクタがあります。なお、DC 12 V の電源を供給する電源コネクタのみ、本体底面に配置されています。（本章後出の「設置」をご覧ください。）

Ki Pro Mini の入出力の機能は、動作モードによって異なります。Ki Pro Mini のアクティブ入力（収録用 1 系統のみ）は、正面パネルまたは WEB ブラウザで選択します。Ki Pro Mini の出力はすべて常時アクティブです。同じ映像が HDMI、SDI の各出力に同時に供給されます。



### Ki Pro Mini の接続面

## コネクタ

- HDMI : v1.3 ビデオ / エンベデッドオーディオ（入力 2ch、出力 8ch）入力用コネクタ × 1、出力用コネクタ × 1
- 8 チャンネルエンベデッドオーディオ対応の HD/SD-SDI 入出力（BNC × 2）
- 2 チャンネルバランスドアナログオーディオ入力（XLR × 2）
- Line/Mic レベルスイッチ（アナログ XLR オーディオ入力レベル）
- LANC ループ（外部コントロール用）
- LTC 入力（BNC）
- 10/100/1000 Ethernet LAN

### LTC タイムコード入力

スタジオ内の LTC タイムコードジェネレータまたはタイムコードソースに接続します。ハイインピーダンス接続です。

### SDI 入出力

SDI 入出力用に BNC コネクタが 2 つあります。SDI 入出力は、SD-SDI および HD-SDI ビデオとエンベデッド 24bit デジタルオーディオをサポートします。使用するカメラに SDI 出力がある場合は、これに接続することによって、最も高い品質が得られます。

## HDMI

2つの HDMI コネクタで、HDMI 互換のビデオ（バージョン 1.3）とマルチチャンネルのエンベデッドオーディオを入出力します。HDCP は入出力とも対応していません。カムコーダからのオリジナルの素材だけは HDMI ソースとして入力できます。HDMI 入力は、長距離ケーブル接続に対応します。22 または 24AWG HDMI ケーブル使用時は最大 100 フィート (30.48 m)、28 または 30AWG HDMI ケーブル使用時は最大 50 フィート (15.24 m) のケーブル接続が可能です。この HDMI 出力は、標準 HDMI ケーブルのみサポートしています。

対応 HDMI フォーマット：

525i 29.97

625i 25

720p 50、720p 59.94

1080i 25、1080i 29.97

1080p 23.98、1080p 24、1080p 25、1080p 29.97

**注：** Ki Pro Mini の HDMI コネクタを使用して HDMI オーディオ / ビデオアクセサリに接続するときは、法規制を順守するため Ki Pro Mini の入力 / 出力ポートと HDMI アクセサリ間にフェライトコア付き HDMI ケーブル（HH-28F-06）を使用してください。

**注：** HDMI 入力は HDCP コンテンツはサポートしていません。HDCP 対応のグラフィックボード、DVD プレーヤー、Blu-ray レコーダー、AV アンプ等には使用できません。HDCP 対応の有無については、それぞれのメーカーにお問い合わせ下さい。

## アナログ 2チャンネルバランスドオーディオ入力

2つの XLR コネクタ（メス）で 2チャンネルのバランスドオーディオを供給します。オーディオは、48kHz 高品質 24bit A/D 入力です。レベル調整は、ソフトウェア およびラインレベル入力スイッチで行います。アナログ オーディオ用のソフトウェアレベル調整（パラメータ 4.1）では、スイッチを Line に設定して使用するバランスドオーディオ（XLR）を調整します。スイッチを Mic または Mic +48 に設定すると、それぞれマイクの入力インピーダンスに適した低い入力レベルになります。ファントムパワー式のマイク（コンデンサーマイク）使用時は Mic +48 に、ファントムパワー不要のマイク（ダイナミックマイク）使用時は Mic に設定します。

## Ethernet

この RJ45 コネクタは、Ki Pro Mini を直接コンピュータに接続、または LAN 接続用の Ethernet ハブやスイッチに接続するための 10/100/1000 Ethernet ポートとして機能します。Ki Pro Mini は、接続された Ethernet ケーブルが CAT-5 ストレートケーブルかクロスケーブルかを自動的に判別して調整を行います。接続と調整が完了すると、LAN 経由で WEB ブラウザから Ki Pro Mini をコントロールできるようになります。

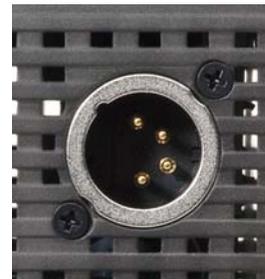
## LANC Loop

このコネクタには、LANC プラグ（2.5 mm 3 芯 TRS ジャック）を接続でき、2 個目のコネクタに信号をループスルーします。LANC（ローカルアプリケーションコントロールバスシステム）はコントロール L と呼ばれ、カメラを同期させるためのソニープロトコルです。各社のカメラで採用され、カメラおよび Ki Pro Mini の収録 / 停止機能をアクセサリからコントロール可能にします。

**注：** LANC は最初の出荷時の Ki Pro Mini のファームウェアのバージョンでは対応していません。

## 電源コネクタ

Ki Pro Mini の底面には、本体に DC12 V の電源を供給するための標準 4 ピン XLR コネクタがあります。付属の AC アダプタ、またはお手持ちのバッテリーを使用できます。このコネクタは、業界標準のピン配列になっていますので各種の電源に対応できます。この標準電源コネクタを使用した製品は、多くのメーカーから提供されています。



ピン 1: -  
ピン 4: +  
ピン 2 とピン 3 : 不使用



**警告 :**

Ki Pro Mini にはユーザーが修理できる部分はありません。電源を外すときは、4 ピン XLR 電源コネクタを確実に抜いてください。修理は AJA サービスセンターまたは AJA 販売代理店にご依頼ください。電源コードやプラグが破損したとき、水がかかったり異物が内部に入ってしまったとき、雨や湿気にさらされたとき、正しく動作しないとき、また落としてしまったときなど、製品が破損したときは、状況によらず修理が必要です。



**警告 :**

安全のため必ずアース接続を行ってください。極性プラグの 2 枚のブレードは、片方がもう片方より幅が広がっています。アースタイプのプラグには 2 枚のブレードと、アース用金属棒があります。幅の広いブレードと金属棒は、安全対策用です。プラグが既存のコンセントに差し込めない場合は、コンセントの交換を電気工事業者にご依頼ください。



**警告 :**

電源プラグは、機器の電源を落とすために使用しますので、手が届きやすく抜き差ししやすい状態にしておいてください。



**警告 :**

電源コード、特にプラグ部分、コンセントや機器に近い部分が、踏まれたり、何かにはさまれたりしないように保護してください。

## ストレージ

記録メディア、業界標準のリムーバブルコンパクトフラッシュ (CF) カードモジュール。CF カードは Mac HFS+ ファイルシステムにフォーマットされています。サードパーティの CF カードリーダーに接続した OSX デスクトップにマウントすると、すぐに編集やファイルへのアクセスが可能になります。



### 注意：

CF メディアを正しく取り付け・取り外ししなかったり、収録中に突然電源が落ちたりすると、データが失われ再現できなくなる場合があります。

### メディアのフォーマット

CF カードをフォーマットするには、Ki Pro Mini の空いたスロットに装着し、SLOT ボタンを押して選択します（前述参照）。選択後、次のように操作します。

1. 初めて Ki Pro Mini で使う場合は、"Warning Media Unformatted" のメッセージが表示されます。
2. STOP ボタンを押します。
3. MEDIA ボタンを押します。
4. メニューの 16.1 Format Media が表示されるまで、SELECT Up/Down ボタンを押します。
5. ADJUST Up ボタンを押します。"FORMAT" が表示されます。ADJUST Up ボタンを押します。Ki Pro Mini は消去する前に確認画面を表示し、フォーマットを始める前に ADJUST Up ボタンを 2 秒以上押し続けるように指示します。フォーマット操作を中止するには、ADJUST Up ボタンを押さないか、他のキーを押します。進捗状況が表示され、終了すると 16.1 Format Media が再度表示されます。

### Ki Pro Mini のメディアを Final Cut Pro で使う

Ki Pro Mini の CF カードを取り出し、サードパーティの CF カードリーダーで Mac に接続すると、CF カードは通常の Apple HFS+ ファイルシステムとしてマウントされます。REEL NAME パラメータは、OSX デスクトップにマウントしたときに表示されるメディア名です。

CF カードをいったんマウントすると、Ki Pro Mini で収録した各クリップは、ファイルシステムの個々のファイルとなり、Final Cut Pro で開くことができます。これらのクリップは、正式な Final Cut Pro のメタデータ付きの Apple ProRes 422 または Apple ProRes 422 HQ、Apple ProRes 422 LT、Apple ProRes 422 Proxy で収録されているため、すぐに編集を開始することができます。

Final Cut Pro の ブラウザウィンドウには、Ki Pro Mini がメディアの個別情報として保存したデータの一部が表示されます。Ki Pro Mini は、Name、Media Start、Media End および Reel の情報を Final Cut Pro のために保存しています。

**注：** Ki Pro Mini で収録したファイルは直接 Final Cut Pro にインポートして編集することができますが、AJA は、メディアをローカルドライブまたは外付けハードディスクなどにコピーして編集することをお勧めしています。

## 設置

この項では、Ki Pro Mini の調整と設置について説明します。Ki Pro のコントロール方法（正面パネルまたは Ethernet & WEB ブラウザ）および用途に応じた物理的システム条件を選択します。



**警告：**

ラジエータやストーブ、アンプなど、熱を発する機器の近くに設置しないでください。



**警告：**

通風孔をふさがないでください。メーカーの指示に従って設置してください。



**警告：**

雷が鳴っているときや長時間使用しないときは、接続を外してください。



**警告：**

修理は AJA サービスセンターまたは AJA 販売代理店にご依頼ください。電源コードやプラグが破損したとき、水がかかったり異物が内部に入ってしまったとき、雨や湿気にさらされたとき、正しく動作しないとき、また落としてしまったときなど、製品が破損したときは、状況によらず修理が必要です。

## 据え置き

Ki Pro Mini は、机上や平面に置くだけで使用できます。また、Ki Pro Mini 用のスタンドを購入すると、垂直に置くこともできます。スタンドにはL字型の電源アダプタが付属しているので、電源コードを Ki Pro Mini の底面からスタンドの後に引き回すことができます。スタンドには、2 個のマウントネジと L 字型電源アダプタが付属しています。



キットの内容

本機底面の電源コードの詳細図



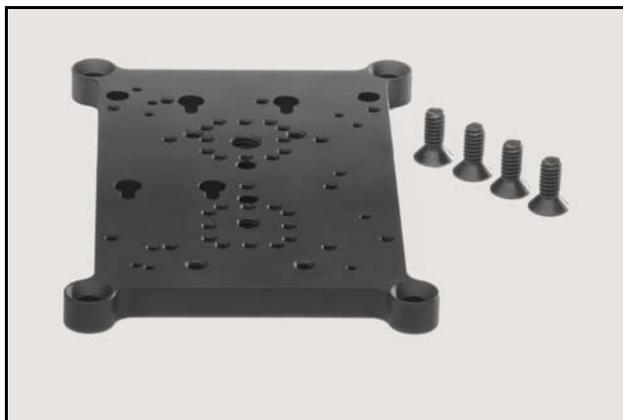
スタンドに取り付けた Ki Pro Mini

### オプションの Ki Pro Mini 用スタンドキット

## カメラマウント

カメラへマウントするには、ブラケットを準備するか、AJA 製の Ki Pro Mini 用マウントプレートが必要です。AJA 製のマウントプレートは単純なアルミ製プレートで、様々なサードパーティのマウントやバッテリープレート、アクセサリ類に合わせられるマウント用の穴があります。

キットの内容



例：2 枚のマウントプレートを取り付けた Ki Pro Mini

### オプションの Ki Pro Mini 用マウントプレート（ネジ付属）

オプションの Ki Pro Mini 用マウントプレート（別名チーズプレート）：V マウント、カメラロッドシステム、ホットシューアダプタなど多種のマウント機器に対応できるように、あらかじめ穴があけられています。マウントするオプションを拡張するために Ki Pro Mini をバッテリーやワイヤレスマイクなどのサードパーティ機器のマウントポイントとして使うこともできます。マウントプレートをもう 1 枚取り付け、サードパーティの機器をそれに取り付けます。



オプションのマウントプレートを使ってカメラにマウントした例

## 電源の供給

Ki Pro Mini の設置 / 設定は非常に簡単です。正面パネルのボタンとディスプレイを使って本機をコントロールする場合は、箱から出してすぐに使用できます。システムのオーディオ・ビデオソース、VTR、モニター、およびオーディオ機器にケーブルを接続し、Ki Pro Mini 本体を必要に応じてマウントするだけで、収録を開始できます。ただし、Ki Pro Mini を WEB ブラウザからコントロールする場合は、各種設定が必要です。



### 警告：

電源プラグは、機器の電源を落とすために使用しますので、手が届きやすく抜き差ししやすい状態にしておいてください。



### 警告：

電源コード、特にプラグ部分、コンセントや機器に近い部分が、踏まれたり、何かにはさまれたりしないように保護してください。



### 警告：

雷が鳴っているときや長時間使用しないときは、接続を外してください。



### 警告：

外装を開けないでください。内部にはユーザーが調整したり修理できる部分はありません。AJAのサービスセンターまたはライセンスのある機関以外の方がシャーシを開けると、保障が無効になります。本体を移動するときは、付属の AC 電源コードを AC 電源から抜いてください。安全のため必ずアース接続を行ってください。

## AC 電源を使うには

使用を開始するときは、付属の AC アダプタの 4 ピン XLR コネクタを Ki Pro Mini 底面の XLR 電源ソケットに差し込みます。次に、AC アダプタの電源コードを 110 V または 230 V の AC 電源に接続します（電圧を自動検知します）。前述のように、オプションのマウントスタンドをお使いになるときは、付属の L 字型電源アダプタを Ki Pro Mini 用 AC アダプタと一緒に使用します。



1. 電源コードを確認します。



2. DC 電源に接続します。



3. 4 ピン XLR コネクタを Ki Pro Mini の DC 12 V ソケットに接続します。

## DC 電源を使うには

Ki Pro Mini を DC 電源で使うには、業界標準の 12 V バッテリーパックの 4 ピン凹型 XLR コネクタを、Ki Pro Mini 底面の電源コネクタに接続します。付属の AC アダプタと同様に安定して 3.3 A を供給できるバッテリーを使用してください。そうしたバッテリーパックは、多くのメーカーで製造されています。

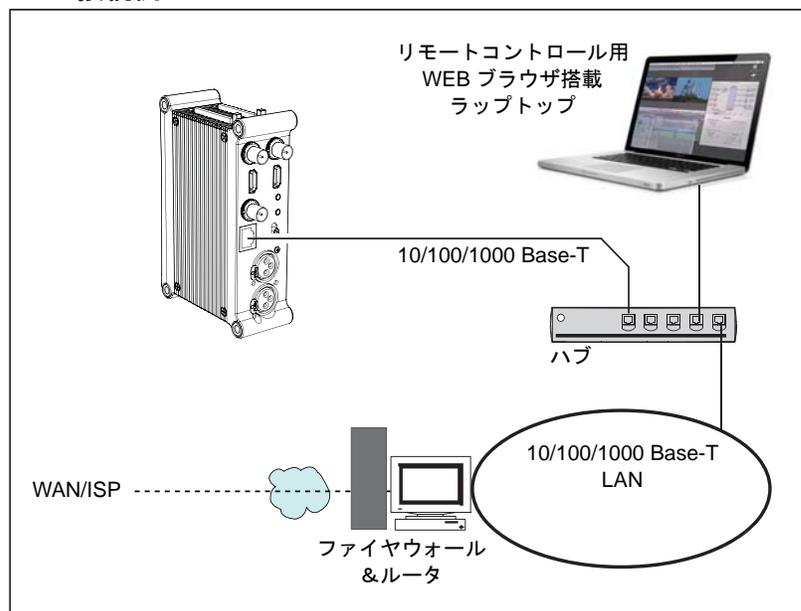
**注：** Ki Pro Mini を正しく動作させるため、バッテリーの電圧が 12 V 以下、18 V 以上にならないようご注意ください。

Ki Pro Mini の消費電力は低いので、様々なバッテリーで Ki Pro Mini を数時間連続して動作させることができます。

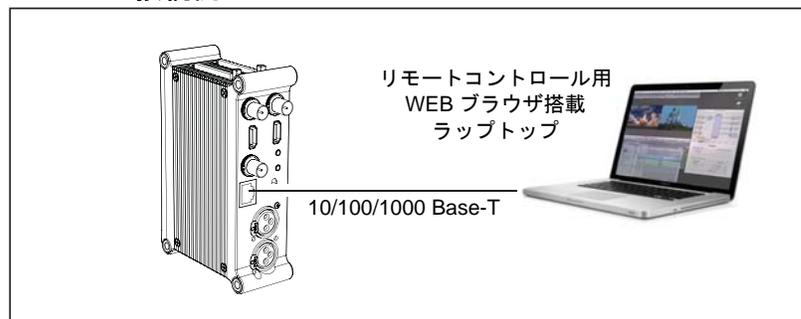
電源が突然落ちると、進行中の収録は正しくメディアに書き込まれません。警告メッセージ “Low Battery” が表示されたら、バッテリーが消耗する前に進行中の収録を停止してください。Ki Pro では、バッテリーが十分な電源を供給できなくなる前に自動的にファイルが閉じる場合もありますが、バッテリーの性能や収録時間によっては閉じない場合もあります。バッテリーの寿命に常に注意してください。電圧メータや残量表示付きバッテリーの使用を強くお勧めします。また、長時間の収録には、バッテリー電源の代わりに付属のアダプタで AC 電源を使用することをお勧めします。

## リモートネットワークコントロール

### LAN 接続例



### Ethernet 接続例



### Ki Pro Mini のネットワーク接続例

#### ネットワーク接続

Ki Pro Mini は、Ethernet ケーブル（ストレートまたはクロス）1 本で、MacBook Pro または Mac に直接ネットワーク接続することができます。ローカルエリアネットワーク（LAN）への接続も可能です。

ケーブル接続時は、Ki Pro Mini は 10/100/1000 Base-TX Ethernet コネクタを介して接続を行います。直接接続する場合は、Ki Pro Mini をブラウザが使用可能な Ethernet 対応コンピュータに CAT-5 ケーブルで接続します。LAN 経由で接続する場合は、Ki Pro Mini の Ethernet コネクタを LAN 上のハブまたはスイッチに接続します。LAN は、ハブまたはデジタルスイッチ経由で接続されている他の Ethernet 機器もすべて包括する共有ネットワークです。LANはソフトウェアまたはハードウェアルータによってゾーン分割することもできます。

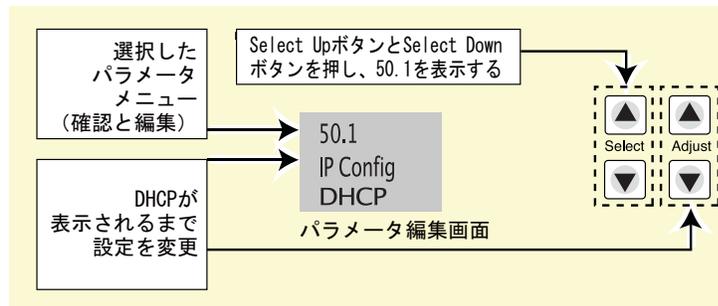
LAN の各デバイスは固定 IP アドレスか、ネットワークによって動的に割り当てられる IP アドレスを持ちます (DHCP)。Ki Pro Mini を LAN に接続する場合は、ネットワーク管理者に接続方法 (固定 IP か DHCP か) を確認してください。

## TCP/IP 情報

LAN に動的に IP アドレスを割り当てる DHCP サーバがある場合は、設定の必要はありません (Ki Pro Mini のデフォルトは DHCP です)。なんらかの理由で、IT 管理者が固定 IP アドレスを割り当てる場合は、その IP アドレスを IP CONFIG パラメータに入力する必要があります。接続する LAN が固定 IP アドレスを使用している場合は、IT 管理者にサブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイ、IP アドレス (接続する LAN のインターネットルータ) を確認してください。以下に、DHCP で使用する場合と固定 IP アドレスを使用する場合、それぞれの設定方法について説明します。

## DHCP 経由の ネットワーク接続

Ki Pro Mini のデフォルト設定 (工場出荷時) では、自動的に DHCP サーバを探して IP アドレスを取得します。従ってネットワークに DHCP サーバがある場合は (通常はルータに内蔵されています)、Ki Pro Mini をネットワークに接続するだけで設定の必要はありません。DHCP を手動で選択する場合は、SELECT ボタンを押してパラメータ 50.1 IP CONFIG を表示させ、ADJUST ボタンで DHCP を選択します。



DHCP を選択した後、Ki Pro Mini と通信するには次のように操作します。

1. SELECT ボタンを押してパラメータ 50.2 を表示させ、DHCP が発行した IP アドレスをメモします。
2. 同じ LAN に接続され DHCP を使用しているラップトップまたはデスクトップコンピュータで、手順 1 でメモした IP アドレスをブラウザのアドレスバーに入力すると、Ki Pro Mini のブラウザ用ステータス画面が表示されます。

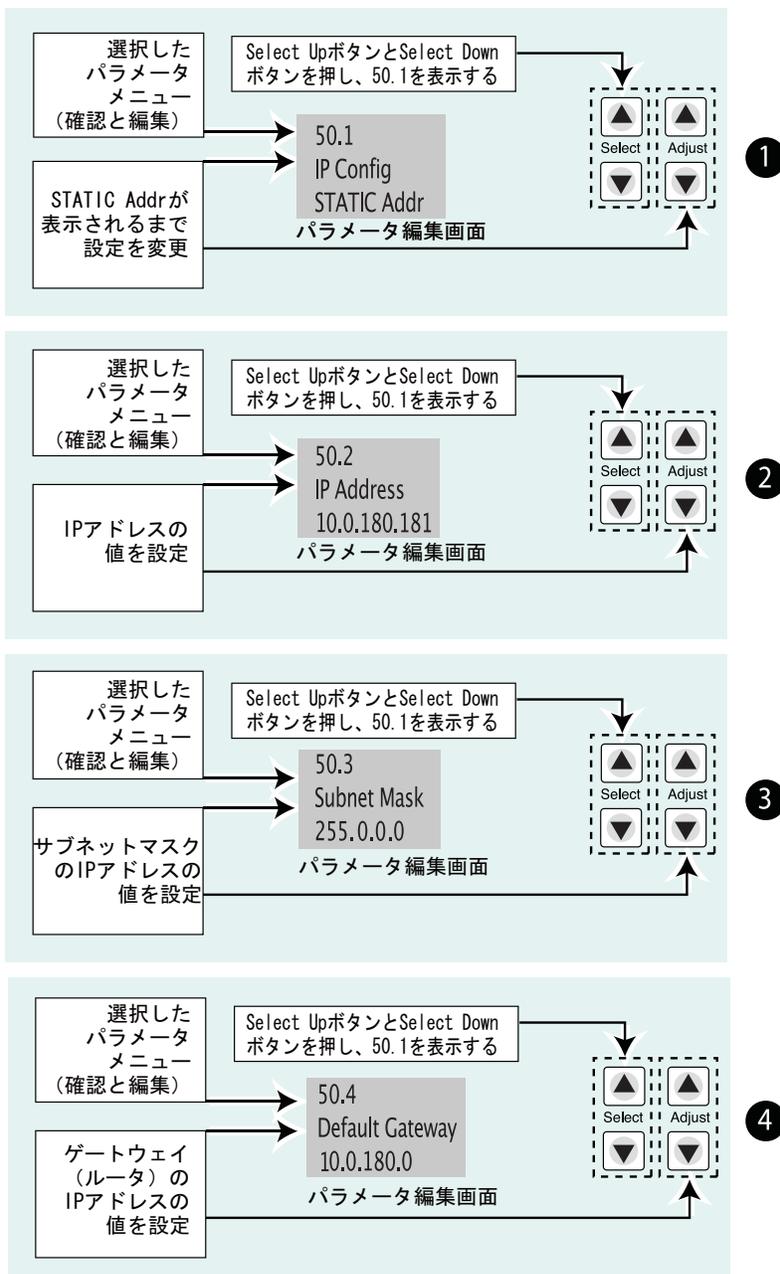
パラメータ 50.1 で Ki Pro Mini が DHCP に設定されていても LAN の DHCP サーバからアドレスを取得できない場合は、Ki Pro Mini の IP アドレスは自動的に工場出荷時のプリセットアドレス 192.168.0.2 に戻ります。このような場合は、下記のような手順で通信を行います。

1. コンピュータの Ethernet IP アドレスを 192.168.0.n (n は 2 以外) に設定します。
2. サブネットマスクを 255.255.255.0 に設定します (ほとんどのコンピュータではアドレスを設定すると適正なネットマスクが設定されます)。
3. ブラウザを起動し、192.168.0.2 (工場出荷時のフォールバック IP アドレス) を入力します。Ki Pro Mini ブラウザ用ステータス画面が表示されます。

**注：** ネットワーク接続で DHCP サーバを検出できなかった場合、Ki Pro Mini は工場設定の固定 IP192.168.0.2 を使用するが、あらかじめ設定された IP アドレスに戻ります。DHCP サーバを検出できなかったためのために、パラメータ 50.2 で固定 IP アドレスを設定しておくことをお勧めします。

## 固定 IP アドレスによるネットワーク接続

Ki Pro Mini に固定アドレスを設定するには、簡単なパラメータメニュー設定が必要です。次の図は、前述の IT 管理者からの情報を、4 つのメニューで入力する事例を示しています。



**2** **注：** パラメータ 50.2、50.3、50.4 で、ピリオドで区切られたオクテットの IP アドレス (例：10.0.181.0) を設定します。このパラメータでは、SELECT ボタンでオクテットを選択し、次に ADJUST ボタンで数字を選択します。SELECT ボタンをもう一度押すと、次のオクテットに進みます。最後のオクテットを設定すると、アドレスが点滅します。SELECT ボタンを押すと設定が確定します。

**Ki Pro Mini を固定 IP アドレスに設定する**

## 工場設定のデフォルト IP によるネットワーク接続

Ki Pro Mini のネットワーク接続で、DHCP を使用せず、かつ独自の固定 IP アドレスも設定したくない場合は、工場設定の 10.65.74.65 をデフォルト設定として使うことができます。コンピュータを直接 Ki Pro Mini に接続し、すぐにネットワーク接続して使用したい場合に便利です。この場合、次の手順で通信方法を設定します。

1. SELECT ボタンを押してパラメータ 50.1 IP CONFIG を表示させ、ADJUST ボタンで Default を選択します。
2. コンピュータの Ethernet IP アドレスを 10.m.n.m (m は 65 以外、n は 74 以外) に設定します。
3. コンピュータで、サブネットマスクを 255.0.0.0 に設定します。(アドレス設定時の適正ネットマスクのデフォルトで、ほとんどの PC では設定する必要はありません)
4. ブラウザを起動し、10.65.74.65 (Default の IP アドレス) を入力します。Ki Pro Mini ブラウザ用ステータス画面が表示されます。

## Ping によるネットワーク接続テスト

IP アドレスと TCP/IP を設定し、Ki Pro Mini を LAN に Ethernet 接続またはコンピュータに直接に接続した後、Ki Pro Mini の接続が有効かどうかを確認してください。Ping 送信で、ネットワーク上の他のデバイスまたは直接接続したコンピュータが Ki Pro Mini を認識できるかどうかを確認します。Ki Pro Mini と同じ LAN 上のコンピュータまたは Ki Pro Mini に直接接続したコンピュータで Ping を実行します。ここでは、Mac OSX コンピュータから、Ki Pro Mini を Ping する方法を説明します。

### Mac での Ping 操作

1. アプリケーションフォルダを開き、フォルダ内のユーティリティフォルダを開きます。
2. Terminal ユーティリティアプリケーションを選択し、ダブルクリックします。
3. Ki Pro Mini でパラメータメニュー 50.2 を表示して、IP アドレスを確認します。
4. 手順 3 で確認した IP アドレスを Terminal プロンプトに入力します。  
例 : ping 192.168.0.2
5. 正しく動作した場合は、Ping ユーティリティがパケット送受信の状況と所要時間を返します。  
例 : 64 bytes from 192.168.0.2: icmp\_seq=0 ttl=64 time=0.590 ms
6. 正しく動作しなかった場合は、Ki Pro Mini のネットワーク設定を確認し、IT 管理者に相談して問題を解決してください。

## WEB ブラウザからのコントロール

ネットワークに接続したコンピュータの WEB ブラウザで Ki Pro Mini をコントロールするには、Ki Pro Mini の IP アドレスを URL としてブラウザに入力します。例えば Ki Pro Mini の IP アドレスが 10.0.6.31 の場合は、WEB ブラウザに次のように入力します。

http://10.0.6.31

詳細は「第 4 章 : ブラウザからのリモートコントロール」で説明します。

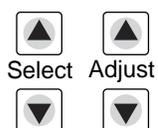


## 第3章 正面パネル操作

Ki Pro Mini は、正面パネル、Ethernet RJ45 コネクタを介して接続した WEB ブラウザからの2つの方法でコントロールできます。本章では、正面パネルで Ki Pro Mini をコントロールして使用方法について説明します。（ブラウザからのリモートコントロールについては、第4章で説明します。）

パネルのコントロールボタンやつまみについての概要は、第2章で紹介していますので、よくお読みください。この章では、基本的な使用手順と共に正面パネルのモードとメニューのそれぞれについて説明します。クリップとリールについても記載されています。

はじめに正面パネルの2つの基本モード（トランスポートモードとメニューモード）を紹介し、次にこれらのモードで SELECT ボタン、ADJUST ボタンがどのように機能するかを説明します。



トランスポートモードは、デフォルトモードです。トランスポートモードでは、SELECT ボタンは、現在選択されている CF カードスロットのクリップを切り換えます（前 / 後切り換え）。また ADJUST ボタンは正方向 / 逆方向のフレーム送りに使用できます。

1 行目：現在のクリップ名を表示します。

2 行目：現在のリール番号と選択されているスロット番号を表示します。

3 行目：現在収録中または再生中のタイムコードとメディアの残量を % で表示します。

トランスポートモード（デフォルト画面）は下記のように表示されます。

SC26ATK12	
REEL 001	S1
01:04:23:10	47%

メニューモードに切り替えるには、3つのメニュー ボタン（STATUS、CONFIG、MEDIA）のいずれかを押します。押したボタンに対応するメニューに入ります。

STATUS メニューでは、SELECT ボタンを押すごとにステータス画面が切り替わります。STATUS メニューでは ADJUST ボタンは機能しません。STATUS メニューモードは下記のように表示されます。

REC	選択されているスロット
Recording Format	フレームレート
ProRes	ProRes タイプ

STATUS メニュー(収録モード)

PLAY	選択されているスロット
Clip Format	クリップのフレームレート
ProRes	ProRes タイプ

STATUS メニュー(再生モード)

CONFIG メニューおよび MEDIA メニューでは、SELECT ボタンを押すごとに調整可能なパラメータが切り替わり、選択したパラメータを ADJUST ボタンで調整します。メニューに入ったときは、最後に選択されていたパラメータが自動的に選択されます。CONFIG メニュー、MEDIA メニューは、下記のように表示されます。

パラメータ番号	
パラメータ名	
選択肢	(ADJUST ボタンで選択)

CONFIG メニュー(アイドルモード)

パラメータ番号	
パラメータ名	
選択肢	(ADJUST ボタンで選択)

MEDIA メニュー(CONFIG メニューと同様)

## トランスポートモード (デフォルト)

トランスポートモードは、Ki Pro Mini の操作のデフォルトモードです。Ki Pro Mini の電源を入れると、トランスポートモードメニューが最初に表示されます。前に収録されたクリップがある場合はディスプレイに表示され、再生可能になります。

正面パネル中央のトランスポートボタン (PLAY、STOP、FF、REV、REC) を押すと、直ちに動作が始まります。ディスプレイがトランスポートモードになっていない場合は、トランスポートモードに切り替わります。MEDIA メニューによる設定に従って動作します (詳しくは後述します)。MENU ボタン (STATUS、CONFIG、MEDIA) がどれも点灯していない場合は、トランスポートモードです。MENU ボタンが点灯しているときは、メニューモードです。

アイドルモード時は、CONFIG メニューや MEDIA メニューにアクセスして、Ki Pro Mini の動作をコントロールするパラメータを調整することができます。

PAUSE モード時はこれらのメニューにアクセスすることはできません。あらかじめ再生を停止させないでこれらのメニューにアクセスしようとすると、LCD 画面にメッセージ "PRESS STOP" が表示されます。STOP ボタンが点滅しているときは、PAUSE モードです。

トランスポートコントロールボタンはロックされる場合があります。例えば、メディアをイジェクトしているときや、IP アドレスを入力しているときは、これらの操作が完了するまで、トランスポートコントロールボタンがロックされます。他の多くのメニューでは、トランスポートコントロールボタンがロックされることはありません。

トランスポートコントロールボタンのいずれかを押すだけで、いつでもメニューを抜けることができます (または STATUS、CONFIG、MEDIA ボタンを押して該当するメニューを抜けます)。トランスポートコントロールボタンのいずれかを押すと、デフォルトのトランスポートモードが表示が切り替わります。

FORMAT MEDIA など、操作によっては確認メッセージ "ARE YOU SURE?" が表示されるものがあります。このメッセージ表示によって、意図しない動作が実行されたり、ボタンが誤って押されて悪影響が生じるのを防止します。確認メッセージ "ARE YOU SURE?" を肯定すると、実行中画面に切り替わり、動作が終了すると自動的にメニューに戻ります。

収録中は、Ki Pro Mini は E-to-E 状態になります。

システム名称や日時設定など、パラメータの一部は、不揮発性メモリーに保存されるため、電源を ON/OFF しても保存されます。

## クリップの収録

Ki Pro Mini は様々な方法でコントロールできるため、クリップをいくつかの方法で収録することができます。本章後述の MEDIA メニューと CONFIG メニューで、収録をコントロールするパラメータをきめ細かく設定できます。詳細な設定について説明する前に、ここでは簡単に収録を実行する方法を紹介します。

1. STATUS ボタンを押します。現在選択されている入力と入力フォーマット (1 行目) と選択した収録フォーマットとオーディオ入力 (2 行目) が表示されます。これらの設定でよい場合は、ディスプレイの下の赤い RECORD ボタンを押します。
2. CF カード取り出しボタンの横にある緑の LED が点滅を始め、収録実行中であることを示します。ディスプレイ上のタイムコードがカウントアップします。収録中は、RECORD ボタンが点灯します。
3. 収録を終了するときは、STOP ボタンを押します。

CONFIG メニューと MEDIA メニューのパラメータで、収録方法をカスタマイズすることも可能です。

**注:** 収録の前に Apple ProRes 422 の設定を変更するときは、MEDIA ボタンを押して MEDIA メニューにして、14.1 ENCODE TYPE が表示されるまで SELECT ボタンを押し、さらに ADJUST ボタンを押して ProRes 422LT または ProRes 422PX、ProRes 422HQ、ProRes 422 を選択します。MEDIA ボタンまたは STOP ボタンを押して、メニューを抜けます。

別のビデオ入力を選択するときは、CONFIG ボタンを押して CONFIG メニューにして、2.1 VIDEO INPUT が表示されるまで SELECT ボタンを押し、さらに ADJUST ボタンを押して希望のビデオ入力コネクタを選択します。別のオーディオ入力を選択するときは、SELECT Up ボタンで 2.2 AUDIO INPUT を表示させ、ADJUST ボタンを押して希望のオーディオ入力コネクタを選択します。

**注:** HDMI ビデオソースがない場合は、HDMI オーディオを選択することはできません。また SDI ビデオソースを選択していないときに、SDI オーディオソースを選択することはできません。

収録開始前に変更が必要なメニューパラメータは、ごくわずかしかありません。入力や出力でのフォーマット変換について詳しくは、本章後述の CONFIG メニューおよび MEDIA メニューのパラメータの項をお読みください。

### 収録に関する注意

- Ki Pro Mini では、大きいファイル（20 分を超えるファイル）を閉じるのに数秒かかる場合があります。こうした大きいファイルでは、メッセージ "Closing File" が表示されます。
- Ki Pro Mini は、メディアの残量が 15%になるとメッセージ "Media Low" を表示して警告します。残量が 10%になると、メッセージ "Media Full" が表示されます。残量が 10%になると収録が停止し、フォーマットしなすか、MEDIA メニュー>Delete Clips>DELETE ALL を実行しない限り、そのメディアで収録を続けることはできません。DELETE CLIP ボタンを押すとフリースペースができ、さらに収録をすることができます。

### クリップの再生

収録したメディアを再生するときは、再生したいクリップを選択して PLAY ボタンを押します。再生したいクリップが選択されていないときは、ディスプレイにクリップ名が表示されるまで SELECT Up/Down ボタンを押します。収録時と同様、再生は、正面パネルや WEB ブラウザで開始することができます。正面パネルを使用する場合の基本手順は、次のとおりです。

1. トランスポートモードになっていない場合は STOP ボタンを押してトランスポートモードにします。クリップ名を表示させます。（ディスプレイには現在選択されているクリップ/リールが表示されます。）
2. 希望のクリップが表示されるまで、SELECT Up/Down ボタンを押します。
3. PLAY ボタン (▶) を押します。
4. クリップ再生 (PLAY、FF または REV) 時は、STOP ボタンを 1 度押すと PAUSE モードになります。再生が一時停止し、クリップの現在点が表示され、STOP ボタンが点滅します。もう一度 STOP ボタンを押すと、再生が完全に停止し、Ki Pro Mini の出力は E-to-E モード（現在選択されている入力そのまま出力されるモード）になります。クリップの最後まで再生されると、クリップの最後のフレームで自動的に PAUSE モードになります。

再生中は、FFWD、REV、SELECT、ADJUST ボタンを使用できます。

**FFWD ▶▶:** F FWD ボタンを押すと、現在のクリップの 2 倍速の高速再生が始まります。押すごとに、4 倍速、8 倍速、16 倍速に切り替わります。（16 倍速になったあとは、ボタンを押しても動作は切り替わりません。）高速再生中は、オーディオはミュートされます。

**REV ◀◀:** 点灯していないときにこのボタンを押すと、現在のクリップのリバース再生が始まります。押すごとに、2 倍速、4 倍速、8 倍速、16 倍速に切り替わります。（16 倍速になったあとは、ボタンを押しても動作は切り替わりません。）リバース再生中は、再生速度に関わらずオーディオはミュートされます。

SELECT Up/Down : トランスポートモードでは、SELECT ボタンはクリップ選択の前キー、次キーとして機能します。クリップを選択すると、クリップの先頭が頭出しされます。クリップの再生順は、クリップの名称ではなく、タイムスタンプ（作成日時）に基づいて決定されます。再生を一時停止したときは（STOP ボタンが点滅）、SELECT Down ボタンを使ってクリップの先頭にジャンプすることができます。STOP ボタンが点滅していないときは、SELECT Down ボタンを押すと、前のクリップが選択されます。

ADJUST Up/Down : トランスポートモードで STOP または PAUSE モード（PLAY モードで STOP ボタンを 1 回押す）になっているときは、ADJUST ボタンを押すと、押すごとに現在のクリップを 1 フレームずつフレーム送りします（Up ボタン：正方向、Down ボタン：逆方向）。

## クリップの削除

収録したクリップを削除するには

1. トランスポートモードで SELECT Up/Down ボタンを押して、現在の CF カードのクリップを検索します。クリップが他の CF カードにある場合は、SLOT ボタンを繰り返し押して CF カードを選択します。
2. 削除したいクリップが表示されたら、DELETE CLIP ボタンを押します。
3. 確認メッセージ "ARE YOU SURE?" が表示されますので、ADJUST Up ボタンを押して、削除を実行してください。Down ボタンなど、ADJUST Up ボタン以外のボタンを押すと、削除は中止されます。

## STATUS メニュー

STATUS メニューは、入出力のステータスとアラーム情報を表示します。STATUS メニューには、実行中のトランスポート動作を変化させることなく、いつでもアクセスできます。STATUS 表示画面は、CONFIG メニューや MEDIA メニューと同様に SELECT Up/Down ボタンを押すことによって切り替えることができます。STATUS ボタンを押すと STATUS 表示画面を抜け、トランスポートモードに戻ります。再生や収録動作は継続します。

### 収録モード（トランスポート）

本章で前述：

- 1 行目：現在のクリップを表示します。
- 2 行目：現在のリール番号と選択されているスロット番号を表示します。
- 3 行目：現在収録中または再生中のタイムコードとメディアの残量を % で表示します。

### アラームステータス

Alarm メニューは、警告やアラームを表示します。アラームにはディスプレイに自動的に表示されるものもありますが、それ以外は STATUS 表示で確認します（SELECT Up/Down ボタンを押して順次切り替えます）。問題がない場合は、STATUS 表示を最後まで確認するとメッセージ "SYSTEM NORMAL" が表示されます。

ALARM 表示の例：1 行目に WARNING が表示され、2 行目に原因となっている内容が表示されます。

WARNING  
NO MEDIA

WARNING  
MEDIA REMOVED

WARNING  
MEDIA LOW

WARNING  
DROPPED FRAMES

WARNING  
A/V MISMATCH

WARNING  
NO VIDEO INPUT

WARNING  
INVALID  
SELECTION

#### 警告表示の例

アラーム状況が発生すると、バックライト付きのボタンとディスプレイが最大レベルの明るさで 2 秒間点滅します。複数のアラーム状況が発生している場合は、次のアラームに移る前に、それぞれのアラーム表示を 3 秒間継続します。これらのアラーム表示は、ディスプレイに、トランスポートモードや STATUS メニューの表示内容に関わらず実行されます。

アラーム状況（例：Invalid Selection）になると、STATUS ボタンはアラームが解除されるまで点滅を続けます。STATUS ボタンを押してアラーム状況の原因を確認してください。

アラーム表示の後で CONFIG メニューや MEDIA メニューに入ると、アラーム表示が解除されます。どれかボタンを押すと、アラーム前の状態に戻ります。ただし、ボタンを押した後もアラームの原因が持続している場合は、アラームがディスプレイに再度表示されます。

**注：** アラーム状況が発生している場合は STATUS ボタンが点滅します。

Ki Pro Mini には、ユーザーが本体の状態や設定、入出力信号に問題があるかどうかを判断できるように、様々なアラームが用意されています。警告メッセージと内容を以下に示します。

WARNING Input Format Changed : 収録開始後に、入力信号が遮断されたり変更された場合に表示されます。この場合、Ki Pro Mini は収録を停止します。

WARNING Record Format : Ki Pro Mini にビデオ入力がない場合に表示されます。この状態では収録は実行されません。

WARNING A/V Mismatch : SDI ビデオに対し HDMI オーディオが選択されている、または HDMI ビデオに対し SDI オーディオが選択されている場合に表示されます。SDI や HDMI のエンベデッドオーディオは、ビデオと一致させる必要があります。アナログオーディオは、すべてのビデオ入力に使用できます。

WARNING Dropped Frames : メディアの性能が不十分で、収録や再生に必要なデータレートが得られない場合に表示されます。このメッセージが収録中に表示された場合は、現在収録されたデータのバックアップをとり、メディアをフォーマットすることを検討してください。再生時は、もう一度実行してみてください。

WARNING SDI VFR Mismatch: パラメータ 1.1 が VFR に設定されているときに、ビデオ入力を SDI 以外に設定すると表示されます。VFR は、SDI 入力だけをサポートしています。

WARNING Media Low: メディアの残容量が 15% しかない場合に表示されます。残容量が 10% になったときは、メディアの交換が必要です。残量が 10% になると、メッセージ "WARNING Media Full" が表示されます。

WARNING Media in Use: 操作中に SLOT ボタンを押してメディアを取り出そうとした場合に表示されます。操作を完了させてから、もう一度ボタンを押してください。

WARNING Media Not Present: メディアが物理的に取り外されている状態で SLOT ボタンが押されると表示されます。

WARNING Media Unformatted: Ki Pro Mini が CF カードのファイルシステムを認識できない、または CF カードがフォーマットされていないときに表示されます。

WARNING Storage Removed : SLOT ボタンを押して正しく CF メディアをアンマウントしないままメディアを取り外した場合に表示されます。この状況では、そのまま CF メディアを Ki Pro Mini に装着しなすと、クリップが "N/A" 表示になり、それ以上収録することはできません。この問題を解決するには、CF カードを Mac OS X で動作する Apple コンピュータにマウントしてから、CF メディアを取り出し、Ki Pro Mini に装着しなおしてください。正常に読めない場合は、CF カードのフォーマットが必要です。

WARNING Backup and Reformat: Ki Pro Mini にマウントされている CF メディアに問題がある場合に表示されます。メッセージが示すとおり、他の CF カードやハードドライブ、外付けハードディスクにコピーして CF メディアをバックアップしてからフォーマットしなおすのが最善策です。以下のような場合は、メディアが読み取り専用状態になっている可能性があります。

- ・クリップがメディアに収録されているにも関わらず、ディスプレイのクリップ領域に "N/A" が表示される。
- ・実際にクリップをロードしていないにも関わらず、ディスプレイのクリップ領域に "Loading" が表示される。
- ・Ki Pro Mini をすべて正しく設定して RECORD ボタンを押したにも関わらず、収録が実行されない。

WARNING Name in Use : 名前を付けるパラメータで指定したクリップ名が CF カードに既に存在する場合に表示されます。テイクが 999 になり、それ以上テイクできない場合にも表示されます。Ki Pro Mini はクリップの上書きをしません。クリップを削除するか、別の名前をつけてください。

WARNING Non VFR Format: 1.1 RECORD TYPE で VFR を選択したが、ビデオ入力に VFR データを検出できなかったときに表示されます。

WARNING No Clip Name : 存在しないカスタムクリップ名を使って、ギャングモードで収録しようとする则表示されます。

WARNING No Video Input : ビデオ入力がない状態で収録しようとする则表示されます。

WARNING Genlock Missing: 6.1 GENLOCK で "Input" を選択してクリップを再生しようとしたときに、選択した入力にゲンロックがない場合に表示されます。

## MEDIA メニュー

名称が示すとおり、MEDIA メニューでは、エンコードの種類、収録・再生時の動作など、CF カードに関連する項目を選択します。リール、クリップ、およびテイクに名前を付けるメニューも含まれています。

### MEDIA メニュー パラメータ

#### 14.1 ENCODE TYPE

このパラメータは、Apple ProRes エンコード方式を指定します。

14.1 ENCODE TYPE	ProRes 422 (デフォルト)	メディアを Apple ProRes 422 ファイルとして収録します。
	ProRes 422HQ	メディアを Apple ProRes 422 HQ ファイルとして収録します。
	ProRes 422LT	メディアを Apple ProRes 422 LT ファイルとして収録します。
	ProRes 422PX	メディアを Apple ProRes 422 Proxy ファイルとして収録します。

#### 15.1 PLAY MEDIA

このパラメータは、再生時の動作を指定します。

15.1 PLAY MEDIA	One (デフォルト)	ひとつのクリップを再生し、終わると再生を停止します。
	All	現在のクリップを再生し、続いて Ki Pro Mini のメディア上の次のクリップを再生します。この設定では、フォーマットやフレームレートに関係なくすべてのクリップを再生します。フォーマットやフレームレートが変わったときはビデオモニタの再設定が必要になります。すべてのクリップのフォーマットやフレームレートが同じか、クリップの出力が同じ周波数に変換されれば、クリップは問題なく次々に再生されます。

#### 15.2 LOOP PLAY

このパラメータは、ループ再生を ON/OFF します。

15.2 LOOP PLAY	OFF (デフォルト) ON	クリップを再生し、終わると再生を停止します。 クリップを再生し、始めに戻って再生を繰り返します。
-------------------	-------------------	---

#### 16.1 FORMAT MEDIA

このパラメータは、現在選択されている CF カードをフォーマットするときに使用します。

16.1 FORMAT MEDIA	KEEP MEDIA (デフォルト) FORMAT MEDIA	動作しません (選択されている CF カードはフォーマットされません)。 選択されている CF カードをフォーマットします (確認メッセージ "Confirm Erase S1?" または "Confirm Erase S2?" が表示されます。ADJUST ボタンを押し続けて確認します)。
----------------------	------------------------------------	---

## 16.2 DELETE CLIPS

このパラメータは、メディアのクリップをすべて削除するときに使用します。

16.2 DELETE CLIPS	DELETE ALL (デフォルト) KEEP CLIPS	DELETE CLIPS を押すか、ADJUST ボタンを2秒間押し続けると、CFカードの全クリップが削除されます。動作しません。(クリップは削除されません。)
----------------------	----------------------------------	--

Ki Pro Mini の CF カードには、Apple ProRes 422 QuickTime 収録以外のデータを保存することもできます。他のファイルをカードに保存する場合は、"AJA" フォルダの外に置いてください。"AJA" フォルダ内のデータは MEDIA>Delete Clips>DELETE ALL を実行するとすべて消去されます。

## 17.0 REEL NAME

このパラメータで、クリップに付加されるリール名を指定します。生成されるすべてのクリップに適用されます。リール名は、001 ~ 999 の番号です。フィルムやテープベースのメディアに従来使用されてきた名称に対応します。REEL NAME は、EDL (編集リスト) で有効な昇順の3桁の値です。従って、このパラメータでは "NONE" (なし) を選択することはできません。REEL NAME パラメータは、CF カードを Mac OSX デスクトップコンピュータにマウントしたとき (およびユーザーがメディアをフォーマットしたとき) に、メディア名として表示されます。

17.0 REEL NAME	001 ~ 999 (デフォルト =001)	自動生成値以外の番号を使用したい場合は、ADJUST Up/Down ボタンを押します。
-------------------	---------------------------	--

## 17.2 CLIP NAME

このパラメータで、クリップに付加されるクリップ名を指定します。変更するまで、以後生成されるすべてのクリップに適用されます。クリップ名は、CLIP または SC です。

17.2 CLIP NAME	SC  CLIP (デフォルト)	作成されるクリップは SC で始まるファイル名を持ちます。 作成されるクリップは CLIP で始まるファイル名を持ちます。
-------------------	------------------------	--

### クリップ名の例

クリップ名がどのように決定されるかを、2つの例で紹介します。どちらの場合も、以下のパラメータの設定に基づいて決定されます。

- REEL NAME
- CLIP NAME
- CLIP NUMBER
- CLIP NUMBER APPEND
- ALPHA APPEND VALUE

また、名称に "TK" とそれに続く自動的にカウントアップする TK 値 (パラメータ 17.6 TAKE で手動でリセット可) がデフォルトで付加されます。

これらのパラメータによって、QuickTime ファイルの名称を撮影スクリプトと論理的に一致させ、Final Cut Pro のブラウザ画面にインポートしたときに QuickTime ファイルを簡単に判別することができます。Final Cut Pro のブラウザ画面には、メディアに関する情報を表示するコラムがあります。Final Cut Pro クリップが "valid" (有効な) メディアとして正しく認識されるためには、少なくとも "Name"、"Media Start"、"Media End" および "Reel" 情報が必要です。それ以外の情報は、"QuickTime metadata" として Final Cut Pro ブラウザのコラムヘッダ部分に表示される項目の中にマッピングすることができます。

**例 1 : 工場設定のデフォルトのパラメータ使用時**

REEL NAME	001
CLIP NAME	CLIP
CLIP NUMBER	1
CLIP APPEND	Alpha
ALPHA APPEND	A

生成されるクリップの名前は、"CLIP1ATK1" になります。このメディアを OSX デスクトップコンピュータにボリュームとしてマウントすると、名称は "001" になります。

**例 2 : カスタム設定時**

REEL NAME	002
CLIP NAME	SC
CLIP NUMBER	12
CLIP APPEND	ALPHA
ALPHA APPEND	B

生成されるクリップの名称は、"SC12BTK1" になります。このメディアをデスクトップコンピュータにボリュームとしてマウントすると、名称は "002" になります。

### 17.3 CLIP NUMBER

このパラメータは、クリップ名に続くクリップ番号 (1 ~ 999) を指定します。変更するまで、以後生成されるすべてのクリップに適用されます。

**17.3  
CLIP NUMBER**

1 ~ 999  
(デフォルト = 1)

自動生成値以外の番号を使用したい場合は、ADJUST Up/Down ボタンを押します。

## 17.4 CLIP APPEND

このパラメータは、パラメータ 17.5 ALPHA APPEND と組み合わせて使用し、クリップ番号の後にアルファベットを付加するかどうかを決定します。

17.4 CLIP APPEND	NONE	クリップ名とクリップ番号の後にアルファベットを付加しない。
	ALPHA (デフォルト)	ALPHA APPEND で入力したアルファベットをクリップ名とクリップ番号の後に付加する。

## 17.5 ALPHA APPEND

このパラメータは、パラメータ 17.4 CLIP APPEND と組み合わせて使用し、クリップ番号の後にアルファベットを付加します。

17.5 ALPHA APPEND	A ~ Z (デフォルト =A)	ADJUST Up/Down ボタンを押して、ALPHA APPEND 値 (A ~ Z) を選択します。設定は、A から Z へ順次切り替わります。
----------------------	---------------------	---

## 17.8 TAKE

このパラメータは、クリップ名、クリップ番号に続く、テイク番号 (1 ~ 999) を指定します。ALPHA APPEND を選択した場合は、テイク番号の後に付加されます。変更するまで、以後生成されるすべてのクリップに適用されます。

17.8 TAKE	1 ~ 999 (デフォルト =1)	Ki Pro Mini は自動的にテイク番号を生成します。自動生成値以外の番号を使用したい場合は、ADJUST Up/Down ボタンを押して、TAKE 値 (1 ~ 999) を選択します。
--------------	-----------------------	--

Ki Pro Mini は、標準の名前の付け方を使ってクリップとテイクを管理します。

1. 既存のクリップは上書きしません。
2. テイク番号は、REEL NAME、CLIP NAME、CLIP NUMBER、CLIP APPEND、ALPHA APPEND および TAKE の設定で決定される部分をプレフィックスとして自動的にカウントアップします。
3. 番号が 999 になると、クリップはテイク 999 で収録され、自動カウントアップはされずにアラームメッセージ "Name In Use" が表示されます。この場合は、新しいプレフィックス部分が生成されるように、REEL NAME、CLIP NAME、CLIP NUMBER、CLIP APPEND、ALPHA APPEND および TAKE を新たに設定してください。この設定によって、それぞれのファイルを明確に区別して、クリップが上書きされるのを防ぐことができます。

## カスタムクリップ ネーミング

AJA が提供する標準設定以外のクリップ名を付けることができます。

**重要:** 次のような文字はクリップ名としてサポートされていません。

**例:** 句読点 (内部スペースやピリオドを除く)、特殊文字 (@など)、ASCII UTF-8 以外の文字は完全に拒否されます。

**注:** 中国語や日本語のような非 UTF-8 文字はサポートされていません。

カスタムクリップ名は、正面パネルの UI メニューのパラメータ (19.1、19.2、19.3、19.4) で SELECT ボタンと ADJUST ボタンを使って作成することができます。WEB の UI 入力フィールドを使うと効率よくカスタムクリップ名を付けることができます。

### 19.1 CUSTOM CLIP

このパラメータは、メニューのパラメータ 19.1、19.2、19.4 や WEB UI を使ってカスタムクリップ名を設定するかどうかを設定します。

19.1 CUSTOM CLIP	OFF (デフォルト) ON	カスタムクリップ名の設定をします。 カスタムクリップ名の設定をしません。
---------------------	-------------------	---

### 19.2 CUSTOM NAME

このパラメータでカスタムクリップ名を設定します。カスタムクリップ名は、正面パネルの SELECT ボタン、ADJUST ボタンを使って設定します。

19.2 CUSTOM NAME	変数	<p>ADJUST ボタンでカスタムクリップ名を入力します。ADJUST ボタンと SELECT Up ボタンを使って文字を選択します。ADJUST ボタンで選択肢をスクロールし、SELECT Up ボタンで次の文字に進みます。文字を選択している間、設定中の文字が点滅して現在の選択位置を示します。次のような文字はクリップ名としてサポートされていません。</p> <p>例：句読点（内部スペースやピリオドを除く）、特殊文字（@など）、ASCII UTF-8 以外の文字は完全に拒否されます。</p> <p>注：中国語や日本語のような非 UTF-8 文字はサポートされていません。</p> <p>デフォルト：CUSTOM</p>
---------------------	----	---

### 19.4 CUSTOM TAKE

このパラメータでカスタムテイクを設定します。カスタムテイク値を、正面パネルの SELECT ボタン、ADJUST ボタンを使って設定します。

19.4 CUSTOM TAKE	1 ~ 999 (デフォルト = 1)	自動生成値以外の番号を使用したい場合は、ADJUST Up/Down ボタンを押します。 TAKE 値 (1 ~ 999) を選択します。
---------------------	------------------------	--

### 22.1 GANG CLIP NAME

このパラメータは、複数の Ki Pro と Ki Pro Mini を使ったギャングレコーディング (Ki Pro、Ki Pro Mini の複数台コントロールについては、本書の後を参照) を実行するとき使用します。ギャングレコーディングで、すべての Ki Pro でクリップ名を同じにしたとき、"Master Name" を選択します。Ki Pro ごとにクリップ名を別々に設定したいときは、"Slave Name" を選択します。"Slave Name" を選択すると、収録は各 Ki Pro のパラメータで設定した名前で行われ、Master Ki Pro から送られてきた名前は受け付けません。

22.1  
GANG CLIP NAMEMaster Name ( デフォルト )  
Slave Nameすべての Ki Pro のギャングユニットのクリップ名を同じにします。  
Ki Pro ごとに別々のクリップ名になります。

注：ギャングコントロールのほとんどは、WEB 画面だけで可能です。

## CONFIG メニュー

以下のメニュー説明では、ディスプレイの 1 行目に表示されるパラメータ番号とパラメータ名、最終行に表示されるパラメータの設定値について記述します。表示されている値は現在の値です。

上記の MEDIA メニューと同様に、ADJUST Up または ADJUST Down ボタンを押すと、現在の CONFIG パラメータ値が選択可能な範囲で変化します。ADJUST ボタンを押し続けると選択肢が連続して切り替わります。数値は昇順または降順で調整できます。

表示される選択肢は、パラメータによって異なります。ADJUST ボタンで設定すると、ほとんどの場合すぐ有効になり、3 秒間変更されないと Ki Pro Mini の不揮発性メモリに保存されます。

SELECT または ADJUST ボタンを押し続けると自動的に変更が始まり、変更速度がアップするものもあります。

ADJUST Up と ADJUST Down ボタンを同時に押すと、パラメータは工場出荷時のデフォルト値に戻ります。

CONFIG メニューでは、システムのセットアップと基本設定を行います。それぞれのパラメータには、MEDIA メニュー同様にパラメータ番号があります。

### CONFIG メニュー パラメータ

CONFIG メニューのパラメータの多くは、組み合わせて使用することによって、Ki Pro Mini の収録のタイプと、特殊なワークフローで収録と同時に実行される入出力の変換フォーマットを設定します。

#### 1.1 RECORD TYPE

このパラメータは、収録するメディアのフレーム形式を指定します。RECORD TYPE は、入力ビデオ信号を標準フォーマットで収録するか (NORMAL)、入力ソースが 1080PsF 29.97 などの場合に PsF 信号として収録するか、VFR で収録するかを設定できます。

1.1  
RECORD TYPENORMAL ( デフォルト )  
PsF  
VFR入力と同じ標準フォーマットで収録します。  
PsF で収録します。  
可変のフレームレートで収録します。

注：23.98 Hz のソースは、この設定にかかわらず自動的に PsF として扱われます。29.97 Hz または 25 Hz では、NORMAL に設定するとインタレースにエンコードされ、PsF に設定するとプログレッシブにエンコードされます。これは 1080 フォーマット時のみ適用されます。

VFR (可変フレームレート) 収録は、SD-SDI/HD-SDI 入力の RP188 データストリームに埋め込まれたメタデータを使用し、フレームレートをアクティブに変更します。可変フ

フレームレートが可能なカメラには、Panasonic AJ-HDC27 や Panasonic HPX シリーズ等のいくつかのカメラがあります。

**注：**現在のファームウェアでは、Ki Pro Mini は 720P VFR の 23.98、25、29.97fps をサポートしています。他の 720p や 1080p VFR は今後のバージョンでサポートする予定です。

### 1.3 1080p PLAYBACK

このパラメータは、再生するメディアが 1080p または PsF の場合に、フレーム形式を指定します。

1.3 1080p Playback	Progressive PsF (デフォルト)	標準の 1080p プログレッシブフレームで再生します。 1080 PsF で再生します (入力時の収録は無関係)
-----------------------	----------------------------	--

### 2.1 VIDEO INPUT

このパラメータは、ビデオ入力コネクタに接続されているビデオ入力ソースを選択します。収録用、スルー出力用のビデオが選択されます。

2.1 VIDEO INPUT	SDI (デフォルト) HDMI	SDI 入力コネクタを選択します。 HDMI 入力コネクタを選択します。
--------------------	---------------------	---

### 2.2 AUDIO INPUT

このパラメータは、SDI ビデオソースと組み合わせるエンベデッド SDI オーディオ、HDMI ビデオソースと組み合わせる HDMI オーディオを含む、オーディオ入力コネクタからのオーディオ入力ソースを選択します。

2.2 AUDIO INPUT	SDI (デフォルト)  XLR HDMI	SDI 入力コネクタからの SDI エンベデッドオーディオを選択します (SDI ビデオ入力選択時)。 XLR 入力を選択します。 HDMI エンベデッドオーディオを選択します (HDMI ビデオ入力選択時)。
--------------------	--------------------------------	---

**注：**XLR 入力は、コネクタパネルのスイッチ設定によって、マイクレベルとラインレベルを切り替えることができます。

### 2.3 AUDIO CHANNELS

このパラメータは、SDI エンベデッドオーディオを 2 チャンネル、8 チャンネルのどちらにするか選択します。一般にカメラで使用するトラック数は 1 チャンネルか 2 チャンネルなので、2 チャンネルを選択します。ポストプロダクションでは多くのオーディオチャンネルが必要になるので、そのような場合は 8 チャンネルを選択します。Ki Pro Mini は、収録する QuickTime ファイルへのオーディオの記録を 2 チャンネルまたは 8 チャンネルのどちらかに限定しています。従って、ソースのオーディオが 2 チャンネル以上あり、8 チャンネルより少ない場合は、CONFIG メニューのパラメータ 2.3 AUDIO CHANNELS の設定は "8 Channels" にします。

1. 全てのデバイスで 8 チャンネルオーディオをサポートしているわけではありません。Ki Pro Mini は 8 チャンネルのオーディオをミックスダウンして出力する機能は備えていません。従って 8 チャンネルの収録が必要な場合は、8 チャンネルの SDI エンベデッドオーディオをサポートしているデバイスを使用してください。
2. 2.3 AUDIO CHANNELS で 8 Channels を選択し、2.2 AUDIO INPUT の設定が SDI (XLR または HDMI) 以外の場合、警告メッセージ "Warning 2 Channel Format" が表示されます。2.2 AUDIO INPUT で SDI audio を選択するか、2.3 AUDIO CHANNELS で 2 Channels を選択して、警告メッセージを消してください。

### 2.3 AUDIO CHANNELS

2 Channels (デフォルト)  
8 Channels

2 チャンネルの SDI エンベデッドオーディオ記録を選択します。  
8 チャンネルの SDI エンベデッドオーディオ記録を選択します。

## 4.1 ANALOG AUDIO

このパラメータは、入力および出力用のアナログオーディオ信号レベルを設定します。業務用オーディオ機器は、0 VU 表示が +4 dBu に相当するなど、コンシューマ機器に比べて高いレベルに対応しています。業務用の +4 dBu 機器をコンシューマ機器の -10dBV (-7.8 dBu) のオーディオ入力に接続するとオーバーロードになる場合があります。一方コンシューマ機器の出力では、業務用機器のオーディオ入力に必要なパワーが得られない場合があります。コンシューマ機器やセミプロ用オーディオ機器では、0 dB の VU 表示は通常 -10 dBV に相当します (0 dBu = 0.775 VRMS)。ここでの設定は、パネル上の Mic/Line スイッチを Line に設定した場合に有効です。(Mic 設定は、コンデンサおよびダイナミックマイク用の低入力レベル設定です。電源を必要とするコンデンサマイクの場合は Mic +48、ダイナミックマイクの場合は Mic に設定してください。)

### 4.1 ANALOG AUDIO

+24dBu (デフォルト)  
+18dBu  
  
+15dBu  
+12dBu

USA 仕様のプロ用信号レベル +24dBu を選択します。  
ヨーロッパ仕様のプロ用信号レベル +18dBu を選択します。  
ドイツ仕様のプロ用信号レベル +15dBu を選択します。  
コンシューマ信号レベル +12dBu を選択します。  
注：最大増幅 (0 dBFS)

## 6.1 GENLOCK

このパラメータは、再生中にゲンロックとして使用するリファレンスビデオのソースを選択します。Ki Pro Mini は、キャプチャ中は常に指定された入力にゲンロックします。

### 6.1 GENLOCK

INPUT  
  
FREERUN (デフォルト)

現在選択されている入力をゲンロックソースとして使用します。  
Free run モード：Ki Pro Mini は内蔵のタイムベースに同期します。外部ソースにはロックしません。

## 8.0 TC IN

このパラメータは、タイムコードのソースを選択します。

8.0 TC IN	TC VALUE (デフォルト) SDI RP188  LTC TIME OF DAY	パラメータ 8.1 TC VALUE で指定した値を使用します。  SDI 入力のエンベデッド RP188 メタデータから読み込んだタイムコードを使用します。 LTC 入力コネクタからのタイムコードを使用します。 内蔵クロックの時刻設定 (CONFIG パラメータ 55.6) を使用します。
--------------	---	--

### 8.1 TC VALUE

このパラメータは、開始タイムコードの時の値を選択します。

8.1 TC VALUE	1 ~ 23 デフォルト : 01:00:00:00	ADJUST ボタンでタイムコードの時の値を選択します。 例 : 01:00:00:00、02:00:00:00 など
-----------------	----------------------------------	--

### 8.2 TC TYPE

このパラメータは、ドロップフレームタイムコードかノンドロップフレームタイムコードかを選択します。

8.2 TC TYPE	NDF (デフォルト) DF	ノンドロップフレームのタイムコードを選択します。 ドロップフレームのタイムコードを選択します。
----------------	-------------------	--

### 8.3 ARM RECORDING

このパラメータは、収録の開始を RECORD ボタン (または WEB 上の RECORD ボタン) を押すか、タイムコードで開始/停止を指定するか、あるいは LANC 信号を使うかを選択します。

タイムコードを使う場合は、パラメータ 8.0、8.1、8.2 でタイムコードのソースとタイプを指定します。開始/停止のタイムコードは、レコードランのタイムコードを使用します。フリーランのタイムコードは、開始/停止の値を指定できないため、この機能は使用できません。

LANC を使用する場合は、LANC が可能な機器の接続が必要です。LANC コントローラを Ki Pro Mini に接続し、ループ出力をカメラに送ります。LANC コントローラの RECORD ボタンを押すと、カメラと Ki Pro Mini で収録を開始します。

**重要 :** LANC コントローラは、Ki Pro Mini に接続しただけでは使用できません。シグナルチェーンで Sony または Canon のカメラで使用できるようにします。カメラは LANC (またはコントロール L) のプロトコルを持っているので、必須です。

カメラだけを使用する場合は、Ki Pro Mini に直接接続しカメラで収録を開始すると、Ki Pro Mini でも収録が始まります。

8.3 ARM RECORDING	REC KEY (デフォルト) TC/REC KEY	RECORD ボタンを押して収録を開始します。 タイムコードの歩進または RECORD ボタンで収録を開始します。
	LANC/REC KEY	LANC コントローラで Ki Pro Mini をスタートします。 LANC コントローラは Ki Pro Mini に接続し、カメラにループ出力を接続している場合は、LANC コントローラの RECORD ボタンを押すと、Ki Pro Mini で収録が始まります。

### 13.1 CAMERA DATA

カメラによっては SDI アンシラリデータを生成し、Ki Pro Mini に送って記録することができます。例えば、スタート/ストップコマンド、タイムコード、リール名、クリップ名、テイクなどです。CONFIG メニューの 13.1 Camera Data は、SDI アンシラリデータを使用するためのパラメータです。パラメータのデフォルトは NONE で、SDI アンシラリデータを持っているカメラを Ki Pro Mini に接続した場合でも、カメラのメタデータは Ki Pro Mini のパラメータには送られません。適切なカメラから適切な SDI アンシラリデータが送られ、そのカメラメーカーやモデルがリストから選択されている場合、カメラから得られ、AJA がサポートできるメタデータを、Ki Pro Mini のタイムコード値、ファイル名など該当するパラメータに送ります。

13.1 CAMERA DATA	NONE (デフォルト)	アンシラリデータを持っているカメラを Ki Pro Mini に接続した場合でも、カメラのメタデータは Ki Pro Mini のパラメータには送られません。
	RED Epic	カメラから得られる Red Epic カメラのメタデータは、Ki Pro Mini のタイムコード値、ファイル名など該当するパラメータに送られます。
	RED One 24	カメラから得られる Red One 24 カメラのメタデータは、Ki Pro Mini のタイムコード値、ファイル名などの該当するパラメータに送られます。
	RED One 25	カメラから得られる Red One 25 カメラのメタデータは、Ki Pro Mini のタイムコード値、ファイル名などの該当するパラメータに送られます。
	Canon XF	SDI 出力を持つ Canon XF シリーズのカメラから得られるメタデータを、Ki Pro Mini のタイムコード値とします。

このパラメータは他の Ki Pro Mini のパラメータに優先します。有効なアンシラリデータがあり、パラメータでそのカメラが選択されている場合は、Camera Data の選択が他のパラメータの選択に優先します。

例：RED Epic から送られたアンシラリデータのリール名、クリップ名、テイク、タイムコード値を Ki Pro Mini に送り記録します。

リール：A230

クリップ名：A230\_C001\_0714SW

テイク：\_001

タイムコード値：20:11:05:12

Ki Pro Mini 内部では、メニューのパラメータ 17.0 Reel Name で設定した "001" の代わりに、リール名として "A230" がファイルに書き込まれます。

MEDIA メニューのパラメータ 17.2、17.3、17.4、17.5、17.6 で生成される標準のクリップ名 "SC1ATK1" の代わりに、ファイル名は "A230\_C001\_0714SW\_001" となります。

タイムコード値は、CONFIG メニューのパラメータ 8.0、8.1、8.2 により記録したファイルに生成される値 01:00:00:00 の代わりに、20:11:05:12 が生成されます。

さらに、アンシラリデータにスタート/ストップフラグがある場合は、CONFIG メニューのパラメータ 8.3 Arm Recording で選択した値の代わりに、カメラのスタート/ストップフラグでスタート、ストップが実行されます (Camera Data パラメータが選択されている場合でも、Rec キーが常に優先します)。

混乱をさけるために、多くの CONFIG メニューまたは MEDIA メニューのパラメータは変わりません。メディアに書き込まれたファイルだけ変更されます。また、メタデータの一部 (リール名など) が失われた場合、Ki Pro Mini は他のパラメータはすべて書き込み、アンシラリメタデータが見つからない値については、標準の設定を使用します。ある場合、ファイルのクリップ名はカメラの記録に関連し、クリップに関連したリール番号はカメラと Ki Pro Mini が生成するものが異なることがあります。

カメラとの関連をできるだけ簡単にするために、CONFIG メニューのパラメータ 13.1 Camera Data を選択するだけで、CONFIG メニューと MEDIA メニューの多くのパラメータを設定できるようになります。

### 13.1 で対応可能なカメラについての重要なご注意

RED Epic : RED Epic では、適切なゲンロック/リファレンス信号をカメラに送ることをお勧めします。これにより、Ki Pro Mini で記録するタイムコードは、RED Epic に比べて精度がよくなります。正確な操作のためには、RED Epic のファームウェアのバージョンは 1.6.24 以上が必要です。

RED One 24: この設定は、RED One 720p 59.94 出力から 23.98 フレーム/秒を抽出するために設計されたものです。"24" は UI の規制に対応するために、23.98 に対して使用しています。RED One では、Ki Pro Mini でのタイムコード記録に対応するように、タイムコードはタイムコード発生器からカメラに送られます。この構成で発生するタイムコードの精度は +/-1 フレームです。正確な操作のためには、RED One のファームウェアのバージョンは 31.6.16 以上が必要です。

RED One 25 : RED One では、Ki Pro Mini でのタイムコード記録に対応するように、タイムコードはタイムコード発生器からカメラに送られます。この構成で発生するタイムコードの精度は +/-1 フレームです。正確な操作のためには、RED One のファームウェアのバージョンは 31.6.16 以上が必要です。

Canon XF: Camera Data パラメータでは SDI の使用が必要なため、SDI 出力を持つ XF シリーズのカメラだけが使用できます。このカメラのアンシラリデータはスタート/ストップコマンドとタイムコード値には対応しますが、クリップ名には対応していません。

### 41.1 VIDEO SG FRMT

このパラメータは、Ki Pro Mini の内蔵テスト信号発生器が出力するビデオフォーマットを指定します。このパラメータは、パラメータ 41.2 と一緒に Ki Pro Mini が出力するビデオテスト信号のタイプを設定します。

41.1 VIDEO SG FRMT	525i 29.97 (デフォルト) 625i 25 720p 50 720p 59.94 1080PsF 23.98 1080i 25 1080i 29.97	出力テスト信号のビデオフォーマットを選択します。
-----------------------	--	--------------------------

### 41.2 VIDEO SG

このパラメータは、Ki Pro Mini の内蔵テスト信号発生器が出力するビデオ信号を指定します。このパラメータは、パラメータ 41.1 と一緒に Ki Pro Mini が出力するビデオテスト信号のタイプを設定します。

41.2 VIDEO SG	OFF (デフォルト) Black 75% Bars  100% Bars	テスト信号の出力を OFF にします。 カラーブラックのビデオテスト信号を出力します。 75% カラーバーのビデオテスト信号を出力します。振幅 75%、サチュレーション 100% のテスト信号は、低い周波数特性や、ビデオのクランプと同じようにビデオのチルトのチェックに使用します。 100% カラーバーのビデオテスト信号を出力します。この 100% ホワイトフィールドバーのテスト信号は、総ビデオレベルに対するクロマの振幅のチェックに使用します。
------------------	---	--

### 41.3 AUDIO SG

このパラメータは、Ki Pro Mini の内蔵テスト信号発生器が出力するオーディオ信号を指定します。

41.3 AUDIO SG	OFF (デフォルト) Silence 1 kHz	オーディオテスト信号の出力を OFF にします。 無音のオーディオテスト信号を出力します。 標準の 1 kHz のテストトーンを出力します。
------------------	---------------------------------	--

### 50.1 IP CONFIG

このパラメータは、Ki Pro Mini で使用する TCP/IP ネットワーク設定のタイプを定義します。

**注：** パラメータ 50.1、50.2、50.3 の編集集中にタイムアウトになることはありません。変更はメニューを抜けたときに保存され有効になります。

50.1 IP CONFIG	STATIC ADDR  DEFAULT ADDR DHCP (デフォルト)	固定 IP アドレスを手動でアサインします。(パラメータ 50.2、50.3、50.4 を入力して設定を完了させます。) 工場のデフォルト固定 IP アドレス 10.65.74.65 を使用します。 アクセスポイントの DHCP サーバーから自動的にアサインされる IP アドレスを使用します。 <b>注：</b> Ki Pro Mini が通信できる DHCP サーバを検出できない場合は、工場のデフォルト固定 IP アドレス 192.168.0.2 が使用されます。
-------------------	---	---

## 50.2 IP ADDRESS

このパラメータは、Ki Pro Mini が TCP/IP ネットワーク接続に使用する固定 IP アドレスを設定します。

50.2 IP ADDRESS	変数	<p>使用する LAN と互換性のある IP アドレスがある場合は、ADJUST ボタンを使って入力します。コンピュータに直接接続している場合は、コンピュータの WEB ブラウザにも入力した有効な IP アドレスを入力します。この設定は、固定 IP アドレスを使用する場合のみ必要です。50.1 を DHCP に設定して DHCP に不具合がある場合のデフォルトの IP アドレス： 192.168.0.2 50.1 が Default Addr に設定されている場合のデフォルトの固定 IP アドレス： 10.65.74.65</p>
--------------------	----	--

**注：**パラメータ 50.2、50.3、50.4 で、ピリオドで区切られたオクテットの IP アドレス（例：10.0.181.0）を設定します。編集時は、SELECT ボタンでオクテットを選択し、次に ADJUST ボタンで数字を選択します。SELECT Up ボタンをもう一度押すと、次のオクテットに進みます。最後のオクテットでアドレスが点滅します。SELECT ボタンを押すと設定が確定します。

これらのパラメータの編集では、設定を遡ることができます（編集箇所が最初のオクテットに戻るまで、SELECT Down ボタンを繰り返し押す）。最後のオクテットで編集を完了すると表示が点滅します。これは編集した IP アドレスを保存中であることを示しています。SELECT Up ボタンを押すと編集した IP アドレスが保存され、SELECT Down ボタンを押すと保存しないで終了します。

## 50.3 SUBNET MASK

このパラメータは、Ki Pro Mini が TCP/IP ネットワーク接続に使用するサブネットマスクを設定します。

50.3 SUBNET MASK	変数	<p>使用する LAN と互換性のあるサブネットマスクがある場合は、ADJUST ボタンを使って入力します。この設定は、固定 IP アドレスを使用する場合のみ必要です。</p> <p>50.1 が DHCP に設定されている場合、デフォルトのサブネットマスクは DHCP サーバによってアサインされます。</p> <p>50.1 が Default Addr に設定されている場合のデフォルトのサブネットマスク： 255.0.0.0</p>
---------------------	----	--

パラメータ 50.2 の IP アドレス編集についての「注」をお読みください。50.3、50.4 も同様です。

## 50.4 STATIC GATEWAY

このパラメータは、LAN に接続した Ki Pro Mini が TCP/IP ネットワーク接続に使用するゲートウェイまたはルータを指定します。

50.4 STATIC GATEWAY	変数	<p>使用する LAN と互換性のあるゲートウェイがある場合は、ADJUST ボタンを使って入力します。この設定は、固定 IP アドレスを使用する場合のみ必要です。</p> <p>50.1 が DHCP に設定されている場合、デフォルトのゲートウェイは DHCP サーバによってアサインされます。</p> <p>50.1 が Default Addr に設定されている場合のデフォルトのゲートウェイ：10.0.0.1</p>
------------------------	----	--

**注：** デフォルトのゲートウェイを正しく設定しないと（ルータやゲートウェイの有無に関わらず）、WEB ブラウザで Ki Pro Mini をコントロールできても、ネットワーク上で他の Ki Pro や FS1i を見ることができません。またゲートウェイを正しく設定しないと、WEB ページの検索機能 "Available Ki Pros-click to refresh" が正常に機能せず、ネットワーク上の他の Ki Pro や FS1 をリストアップできません。

### 50.5 SYSTEM NAME

このパラメータは Ki Pro Mini の名前を設定し、固有の識別子とします。この名称は、WEB インターフェイス経由でシステムを表示するときにも使用します。

50.5 CUSTOM NAME	変数	<p>ADJUST ボタンで Ki Pro Mini の名前を入力します。ADJUST ボタンと SELECT Up ボタンで文字を選択し、最大 20 文字の名前を設定します。ADJUST ボタンで選択肢をスクロールし、SELECT Up ボタンで次の文字に進みます。文字を選択している間、設定中の文字が点滅して現在の選択位置を示します。</p> <p>使用できる文字：0～9、"-",".", A～Z（大文字）、a～z（小文字）</p> <p>デフォルト：Ki Pro Mini</p>
---------------------	----	--

### 50.6 MAC ADDRESS

このパラメータは、Ethernet アダプタの MAC アドレスを表示するだけの情報パラメータです。

50.6 MAC ADDRESS	情報表示のみ	<p>このパラメータを選択すると、Ki Pro Mini の Ethernet MAC アドレスが表示されます。MAC アドレスは、内蔵の Ethernet アダプタに付けられた固有の値です。MAC アドレスは、ハードウェアアドレス、物理アドレスとも呼ばれます。MAC アドレスによって、同じ LAN 上のそれぞれの Ethernet アダプタを識別します。</p> <p>MAC アドレスフォーマット：MM:MM:MM:SS:SS:SS 値は 12 桁の 16 進数で、最初の 6 桁が製造所、後半の 6 桁が固有のシリアル番号になります。</p>
---------------------	--------	---

### 55.4 DATE SET

このパラメータは、Ki Pro Mini の内蔵クロックの日付を手動で設定します。値は、YYYY/MM/DD（年/月/日）の形式で定義します。

55.4 DATE SET	変数	ADJUST ボタンで Ki Pro Mini のカレンダーの日付を入力します。ADJUST ボタンと SELECT Up ボタンを使って文字を選択して、年月日 (YYYY/MM/DD) を設定します。ADJUST ボタンで選択肢をスクロールし、SELECT Up ボタンで次の文字に進みます。文字を選択している間、設定中の文字が点滅して現在の選択位置を示します。最後の桁まで設定して SELECT Up ボタンを押すと日付が点滅します。SELECT ボタンをもう一度押して確定すると、次のパラメータが表示されます。
------------------	----	--

### 55.6 TIME SET

このパラメータは、NTP を使用せず、Ki Pro Mini 内蔵の時計の時刻を手動で設定するときに使用します。

55.6 TIME SET	変数	ADJUST ボタンで Ki Pro Mini 内蔵の時計の時刻を入力します。ADJUST ボタンと SELECT Up ボタンを使って文字を選択して、それぞれの桁 (時 / 分) を設定します。ADJUST ボタンで選択肢をスクロールし、SELECT Up ボタンで次の文字に進みます。文字を選択している間、設定中の文字が点滅して現在の選択位置を示します。最後の桁まで設定して SELECT Up ボタンを押すと日付が点滅します。SELECT ボタンをもう一度押して確定すると、次のパラメータが表示されます。時刻は 24 時間式で、GMT に合わせてください。 注：現地時間を GMT (UTC) に変換する方法を紹介した WEB サイトは数多く存在します。AJA で特に承認したサイトはありませんが、例を 2 つ紹介します。  <a href="http://tycho.usno.navy.mil/zones.html">http://tycho.usno.navy.mil/zones.html</a> <a href="http://hurricanes.noaa.gov/zulu-utc.html">http://hurricanes.noaa.gov/zulu-utc.html</a>
------------------	----	---

### 70.2 DISPLAY INTENSITY

このパラメータは、正面パネルの LCD の文字表示とボタンのバックライトの明るさを設定します。

70.2 DISPLAY INTENSITY	変数	ADJUST ボタンを使って、文字表示の明るさと動作表示用 LED の明るさを、1 (暗い) から 8 (明るい) で設定します。 デフォルト : 6
---------------------------	----	--

### 70.3 FAN SPEED

このパラメータは、Ki Pro Mini 内蔵の冷却ファンの回転速度を設定します。Ki Pro Mini の近くでオーディオ収録が行われている状況など、ファンの速度を QUIET RECORD に設定して動作音を抑えたほうがよい場合があります。

70.3 FAN SPEED	NORMAL	最適な冷却効果を保つために、ファンは一定の標準速度で動作します。
	NORMAL AUTO	最適な冷却効果を保つために、ファンの速度が変化します。
	QUIET RECORD (デフォルト)	動作音が小さくなるように、ファンは一定の低速度で動作します。
	QUIET AUTO	収録が始まるまではファンは標準速度で動作し、収録が始まると動作音が小さくなるように、ファンは速度を落として動作します。

### 80.1 SERIAL NUMBER

このパラメータは、Ki Pro Mini の個別のシリアル番号を表示します。

### 80.2 SW VERSION

このパラメータは、Ki Pro Mini のソフトウェアのバージョンを表示します。

### 99.0 FACTORY RESET

このパラメータを選択し、ADJUST Up ボタンを 2 秒間押すと、Ki Pro Mini が工場出荷時のデフォルトの設定に戻ります。



**注意：**

このパラメータを選択して工場のデフォルトを呼び出すと、現在の設定は上書きされます（例外として、ネットワーク設定は保持されます。）

工場のデフォルト値を呼びだしても、IP CONFIG、IP ADDRESS、SUBNET MASK、DEFAULT GATEWAY、SYSTEM NAME および日時・時刻の設定は変更されません。ネットワーク設定をクリアして工場のデフォルトに戻すには、ADJUST Up と ADJUST Down ボタンを同時に押します。

**注：** ひとつのパラメータだけを工場のデフォルト値にするには、パラメータを選択して ADJUST Up ボタンと ADJUST Down ボタンを同時に押します。



# 第 4 章 ブラウザからのリモートコントロール

## リモートコントロールの概要

Ki Pro Mini 内蔵の高性能 WEB サーバを使用することによって、ネットワークにケーブル接続されたコンピュータで、ブラウザクライアントを介して離れた場所から、Ki Pro Mini のパラメータの設定を確認・変更することができます。ネットワークは、クローズド LAN でも、コンピュータとの直接接続でもかまいません。(ファイアウォールを通してブロードバンド WAN に接続することもできますが、インターネットを介して誰でも Ki Pro Mini にアクセスできるためお勧めできません。)

LAN 接続には、標準 RJ45 コネクタを使用します。内部的にはインテリジェントで、標準ストレート CAT5 Ethernet ケーブルまたはヌルモデム (クロス) ケーブルを使用するだけで、それ以上の調整や配線は必要ありません。

**注:** Safari は Ki Pro Mini のコントロールをサポートしているウェブブラウザです。その他のブラウザも使用できますが、AJA は動作を保証していません。

## Ethernet 経由の WEB ブラウザ

Ki Pro Mini をコントロールする場合は、CAT5 Ethernet ケーブルを使用して Ki Pro Mini の LAN コネクタ (RJ45 端子) にコンピュータを接続します。

WEB ブラウザに Ki Pro Mini の URL を入力するだけで、Ki Pro Mini にアクセスすることができます。URL は、Ki Pro Mini のネットワーク設定用パラメータ 50.2 で定義した IP アドレスです (ネットワークで Ki Pro Mini にアクセスするためにはパラメータ 50.1 ~ 50.4 を正しく設定する必要があります)。Ki Pro Mini が DHCP (デフォルト) を使用している場合は、パラメーター 50.2 を参照することによって、IP アドレスを確認することができます。工場出荷時は、デフォルトで DHCP に設定されています。

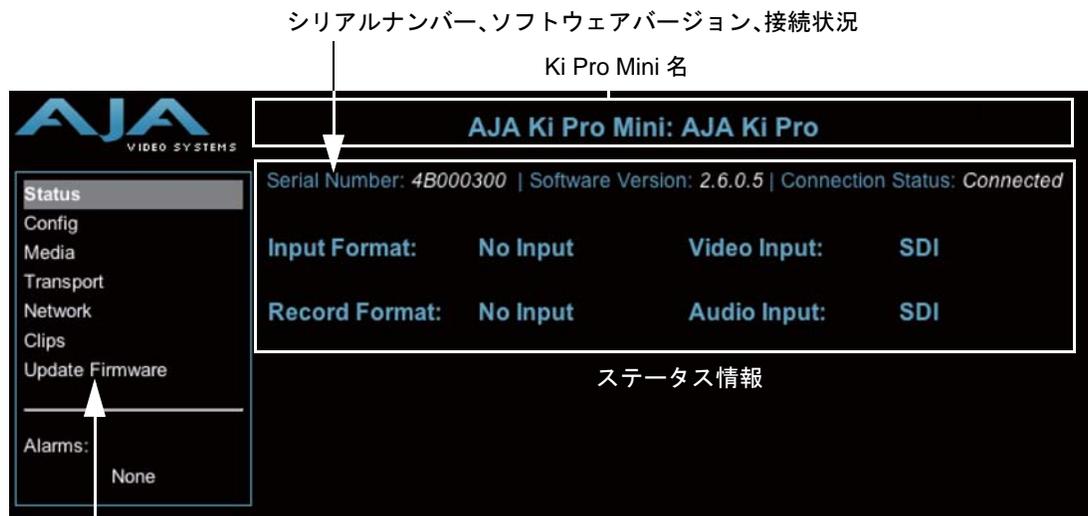
50.1 が DHCP に設定されていて、ネットワーク上の DHCP サーバが IP アドレスの割当に失敗した場合、Ki Pro Mini は静的アドレスに戻ります。

50.1 が Default Addr に設定されている場合の、工場出荷時のデフォルトの固定 IP アドレスは 10.65.74.65 です。

50.1 が Default Addr に設定されている場合、WEB ブラウザに `http://10.65.74.65` を入力すると、Ki Pro Mini の WEB インターフェイスのメイン画面 (Status 画面) が表示されます。

## 共通画面情報

Ki Pro Mini の WEB 画面は、いくつかのエリアで構成されています。各画面の左側には Ki Pro Mini で設定可能な全項目をリスト表示する情報エリアがあり、項目名をクリックすると、それぞれの画面にジャンプします。各画面の最上部のヘッダには、Ki Pro Mini のシリアル番号とソフトウェアバージョンのほかに、接続状況が表示されます。シリアル番号とソフトウェアバージョンは、AJA テクニカルサポートに連絡して、問題点を確認したり、アドバイスを求める必要が生じた場合に有効です。画面中央には、表示されている画面で設定できるメニュー項目や関連する情報が表示されます。WEB 画面は、Ki Pro Mini の正面パネルに表示されるパラメータメニューとまったく同じです。以下に示す画面のそれぞれで、対応するパラメータメニューの番号を記載してありますので、詳しくは第 3 章の対応する項目を参照してください。



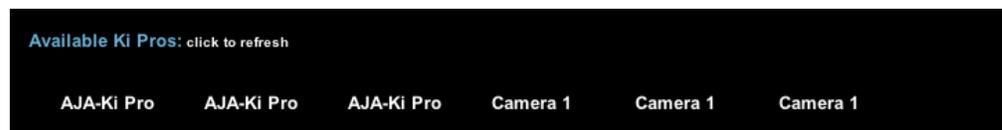
Ki Pro Mini 設定メニューのリスト:  
どれかひとつをクリックして、画面を表示させます。

### Ki Pro Mini WEB インターフェイス、メイン画面 (Status 画面)

## 複数の Ki Pro Mini のコントロール

Network 画面では、現在コントロールの対象になっている Ki Pro Mini と同一の LAN 上にあるすべてのデバイスを一目で確認することができます。"Available Ki Pros: click to refresh" の下に、LAN 上にあるすべての Ki Pro と Ki Pro Mini のシステム名がリスト表示されます。どれかをクリックすると、該当する Ki Pro Mini の Status 画面が表示されます。

**注:** コントロールしている Ki Pro や Ki Pro Mini のソフトウェアのバージョンが異なる場合は、表示される画面が異なることがあります。一般的には、使用する Ki Pro はすべて同じバージョンの最新ソフトウェアで動作させることをお勧めします。また、Ki Pro を確認するにはデフォルトゲートウェイを正しく設定する必要があります。ネットワーク画面は、LAN 上の Ki Pro に加え、同じ LAN に接続された AJA FS1 フレームシンクも表示します。これらは最下部の Others の下に表示されます。



また、デフォルトゲートウェイ（パラメータ 50.4）が適切に設定されていないと、ここで他の Ki Pro を見ることはできません。"No Ki Pros found" が表示された場合は、ゲートウェイの設定を確認してください。

## ギャングレコーディング

ギャングコントロール機能で、複数の Ki Pro と Ki Pro Mini をひとつのグループとして収録することができます。この機能は、Ki Pro が共通のネットワークの IP アドレスとサブネットマスクを持ち、LAN 接続で Ethernet スイッチやハブを介してホストコンピュータと接続されているとき、WEB UI を介してのみ使用することができます。

**重要事項:** WEB UI を介したギャングコントロールは、有線の Ethernet 接続だけが対応しており、802.11 無線接続は対応していません（Ki Pro Mini は 802.11 無線接続には非対応）。ギャングコントロールで Ki Pro を使用するときは、802.11 無線接続は無効にしておくことをお勧めします。802.11 無線接続を有効にしてギャングコントロールで Ki Pro を操作すると、WEB UI との通信が遅くなったり、異常が起きることがあります。

### 例：

"Master" Ki Pro と "Slave" Ki Pro の固定 IP アドレスがそれぞれ 192.168.0.2 と 192.168.0.3 で、サブネットマスクが 255.255.255.0 でネットワークに接続されています。2 台の Ki Pro は、IP アドレスが 192.168.0.1、サブネットマスクが 255.255.255.0 のホストコンピュータに接続されています。ホストコンピュータは Apple's Safari のような WEB ブラウザを使って、ブラウザの URL フィールドに 192.168.0.2 を入力して "Master" Ki Pro にアクセスします。"Master" Ki Pro の WEB UI が表示されます。

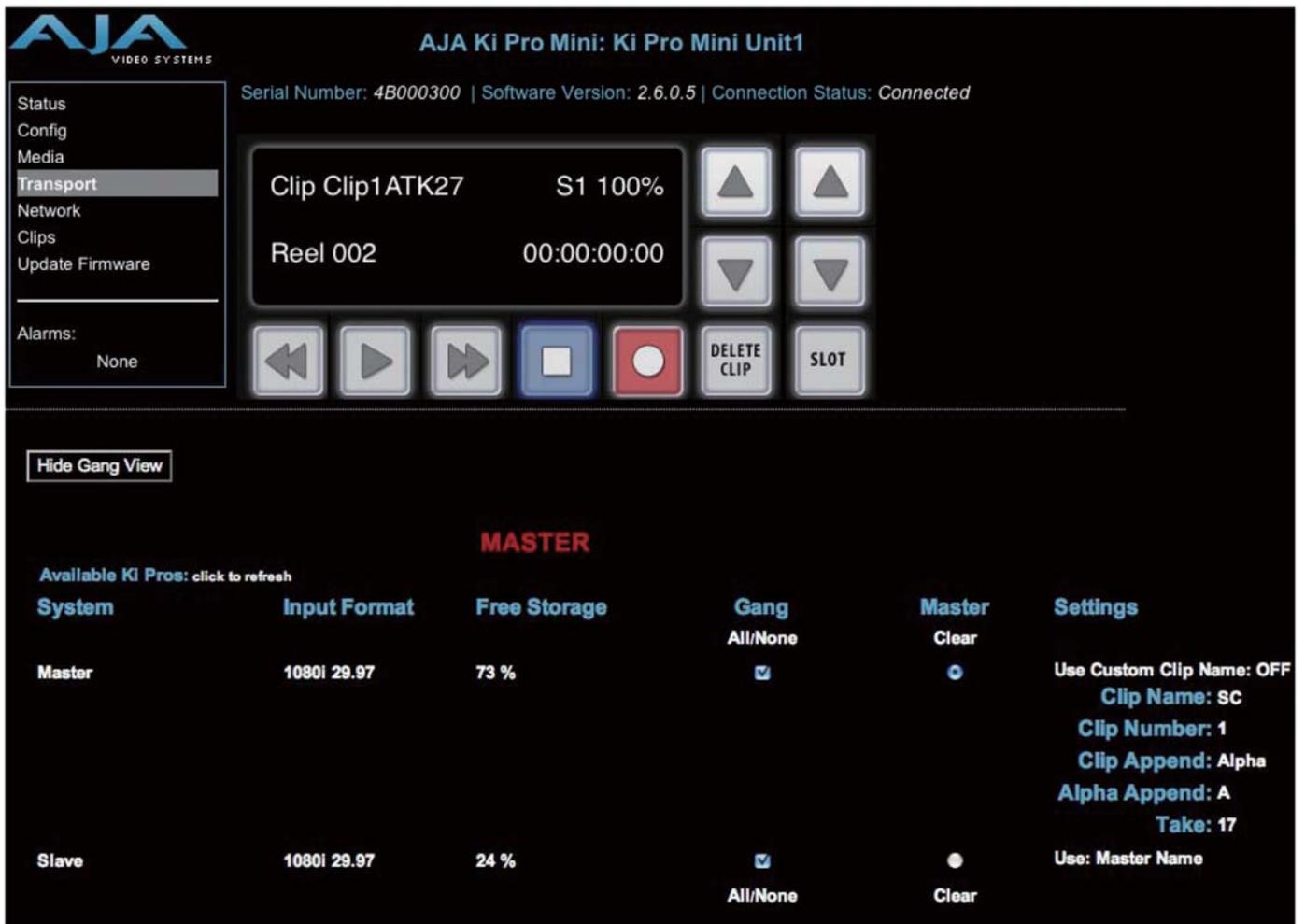
## ギャングレコーディングの使いかた

Transport 画面を表示すると、画面の左に "Show Gang Controls" ボタンが表示されます。"Show Gang Controls" ボタンをクリックすると、"Available Ki Pros" リストが表示されます。使用したい Ki Pro が表示されない場合は、"Hide Gang View" ボタンをクリックし、次に "Show Gang Controls" ボタンもう一度クリックして、画面を表示しなおします。Ki Pro の情報が再表示されるまで数秒かかります。画面を再表示しても使用したい Ki Pro がリストに表示されない場合は、Ki Pro がネットワークに正しく接続され、適切な IP アドレス等が設定されているか確認してください。

使用可能な Ki Pro のパラメータが、ギャングコントロールエリアに表示されます。表示されるのは以下の項目です：



System、Input Format、Free Storage、Gang、Master、Settings。ギャングに追加可能な Ki Pro が、System 欄に表示されます。Input Format には、各システムが受信しているビデオフォーマット / フレームレートのタイプに関する情報を表示します。Free Storage には、各ユニットのメディアの容量がひと目でわかるように表示されます。Gang は、ユニットのギャングへの追加や削除の情報です。Master は、その Ki Pro がギャングでコントロールする役割であることを示します。Settings は、Master Ki Pro と Slave Ki Pro のクリップ名に関する情報です。



**AJA Ki Pro Mini: Ki Pro Mini Unit1**  
Serial Number: 4B000300 | Software Version: 2.6.0.5 | Connection Status: Connected

Status  
Config  
Media  
**Transport**  
Network  
Clips  
Update Firmware

Alarms: None

Clip Clip1ATK27 S1 100%  
Reel 002 00:00:00:00

Hide Gang View

**MASTER**

Available Ki Pros: click to refresh

System	Input Format	Free Storage	Gang All/None	Master Clear	Settings
Master	1080i 29.97	73 %	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/>	Use Custom Clip Name: OFF Clip Name: SC Clip Number: 1 Clip Append: Alpha Alpha Append: A Take: 17
Slave	1080i 29.97	24 %	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	Use: Master Name

### Ki Pro Mini のWEB インターフェイス、Transport 画面 (Show Gang Control)

Ki Pro Mini をギャングに追加するには、Gang 欄のチェックボックスをチェックするだけです。使用可能な Ki Pro Mini をすべてギャングに追加するには、Gang の下にある "All" を選択します。ギャングから削除するには、チェックを外すか、"Clear" を使います。

重要：ひとつのギャングには Master は 1 台だけです。通常は、入力し、WEB UI 上で見ることができる Ki Pro Mini の IP アドレスのユニットが、コントロールする役割のユニットになります。現在 WEB UI で見ることのできる IP アドレスのユニットが選択されると、"MASTER" が赤の大文字で WEB ページに表示されます。

Master Ki Pro は、ギャング内の Slave Ki Pro に、収録開始コマンド、停止コマンド、クリップ名の 3 項目を送ります。収録の開始、停止コマンドは、Master Ki Pro のギャング情報の上にある WEB UI の Transport エリアからコントロールします。正面パネルのボタンでコントロールすることもできます (CONFIG パラメータ 35.2 を "Local Only" に設定してある場合)。

Settings エリアでは、各ユニットの Ki Pro Mini のクリップ名を指定します。

デフォルトでは、Ki Pro Mini は標準のクリップ名を使用するように設定されています。カスタムのクリップ名は使用しません。まず最初にクリップ名の付け方を選択します。標準のクリップ名を使う場合は、"Use Custom Clip Name" を "OFF" にします。カスタムのクリップ名を付けたいときは、"OFF" をクリックしてプルダウン選択肢の "OFF/ON" で選択をして、"OK" をクリックします。

"OFF" を選択すると、次のパラメータは "Clip Name" になります。"SC" または "Clip" をクリックすると、プルダウン選択肢と "OK" が表示されます。"Clip Number" に、Ki Pro の有効値 (1 ~ 999) を手動で入力し、Enter/Return キーを押します。

**注：** 選択した後に Enter/Return キーを押さないと、設定値は前に表示されていた値に戻ります。

次に "Clip Append" または "Alpha Append" の値をクリックすると、プルダウンの選択肢と "OK" ボタンが表示されます。"Take" は "Clip Number" と同じように操作します。有効値 1 ~ 999 を入力し、Enter/Return キーを押して値を確定します。カスタムクリップ名の付け方については、本マニュアルの「カスタムクリップネーミング」を参照してください。

Slave Ki Pro では、Settings 欄で "Master Name" または "Slave Name" のどちらかを選択します。デフォルトの "Master Name" をクリックすると、プルダウン選択肢 "Master Name" と "Slave Name" および確認のための "OK" ボタンが表示されます。収録時に、すべての Ki Pro でクリップ名を同じにしたいときは、"Master Name" を選択します。Ki Pro ごとにクリップ名を別々に設定したいときは、"Slave Name" を選択します。"Slave Name" を選択すると、収録は各 Ki Pro のパラメータで設定した名前で行われ、Master Ki Pro から送られてきた名前は受け付けません。

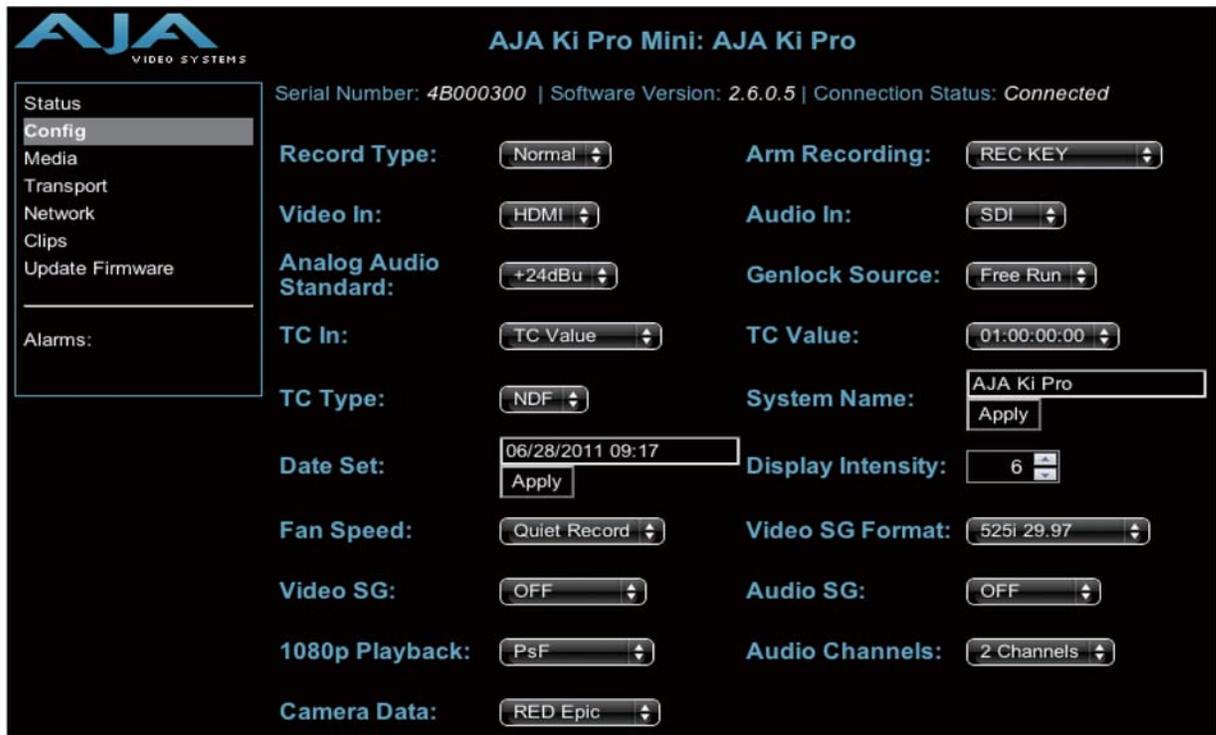
Ki Pro Mini は収録をすぐに開始することができますが、すべてのユニットで厳密に同じ時間、同じフレームで収録の開始、終了ができるわけではないので注意が必要です。タイムコード発生器の独立した出力、またはタイムコード用の分配アンプを介して、タイムコード発生器から RP-188 または LTC を埋め込んだ SDI で一致したタイムコードを各ユニットに送れば、これは問題ではありません。Final Cut Pro のようなノンリニア編集システムでは、複数のクリップの編集はタイムコードの値でクリップを同期させています。また、Ki Pro Mini はメディアの同時再生には対応していません。収録の開始と停止機能だけが可能です。

## 設定値を工場設定に戻す

Ki Pro Mini を工場設定にグローバルリセットする場合は、Ki Pro Mini 本体の正面パネルで CONFIG パラメータ 99.0 を呼び出して工場設定値にリセットしてください。

## Config 画面

Config 画面は、Ki Pro Mini の入出力の設定、および動作環境（名称、時計設定、表示など）の設定に使用される汎用画面です。



### Ki Pro Mini WEB インターフェイス、Config 画面

**注：**以下の WEB コントロール画面の説明では、第 3 章におけるパラメータ説明の番号に対応する番号を括弧内に示します。選択肢やそれぞれの意味について詳しくは、第 3 章を参照してください。

**Record Type (1.1)：**このパラメータは、収録するメディアのフレーム収録形式を指定します。入力ビデオ信号を通常通り PsF 信号として収録するか（例：入力ソースが 1080PsF29.97 の場合など）、SD-SDI/HD-SDI 入力（例：Varicam）を可変フレームレートで収録する VFR にするかを設定します。

**Arm Recording (8.3)：**このパラメータは、収録の開始を RECORD ボタン（または WEB 上の RECORD ボタン）を押すか、タイムコードで開始/停止を指定するか、あるいは LANC 信号を使うかを選択します。

タイムコードを使う場合は、パラメータ 8.0、8.1、8.2 でタイムコードのソースとタイプを指定します。開始/停止のタイムコードは、レコードランのタイムコードを使用します。フリーランのタイムコードは、開始/停止の値を指定できないため、この機能は使用できません。

LANC を使用する場合は、LANC が可能な機器の接続が必要です。LANC コントローラを Ki Pro Mini に接続し、ループ出力をカメラに送ります。LANC コントローラの RECORD ボタンを押すと、カメラと Ki Pro Mini で収録を開始します。

**重要：**LANC コントローラは、Ki Pro Mini に接続しただけでは使用できません。シグナルチェーンで Sony または Canon のカメラで使用できるようにします。カメラは LANC（またはコントロール L）のプロトコルを持っているので、必須です。

カメラだけを使用する場合は、Ki Pro Mini に直接接続しカメラで収録を開始すると、Ki Pro Mini でも収録が始まります。

Video In (2.1) : このパラメータは、ビデオ入力コネクタに接続されているビデオ入力ソースを選択します。このビデオソースは、収録やパススルー出力に使用されます。

Audio In (2.2) : このパラメータは、オーディオ入力コネクタに接続されているオーディオ入力ソースを選択します。このオーディオソースは、収録やパススルー出力に使用します。

Analog Audio Standard (4.1) : このパラメータは、入力および出力用のアナログオーディオ信号レベルを設定します。業務用オーディオ機器は、0 VU 表示が +4 dBu に相当するなど、コンシューマ機器に比べて高いレベルに対応しています。業務用の +4 dBu 機器をコンシューマ機器の -10dBV (-7.8 dBu) のオーディオ入力に接続するとオーバーロードになる場合があります。一方コンシューマ機器の出力では、業務用機器のオーディオ入力に必要なパワーが得られない場合があります。コンシューマ機器やセミプロ用オーディオ機器では、0 dB の VU 表示は通常 -10 dBV に相当します (0 dBu = 0.775 VRMS)。

Genlock Source (6.1) : このパラメータは、再生中にゲンロックとして使用するリファレンスビデオのソースを選択します。

TC In (8.0) : このパラメータは、タイムコードのソースを選択します。

TC Value (8.1) : このパラメータは、開始タイムコードの値を選択します。

TC Type (8.2) : このパラメータは、ドロップフレームタイムコードかノンドロップフレームタイムコードかを選択します。

System Name (50.5) : このパラメータは Ki Pro Mini の名前を設定し、固有の識別子とします。この名称は、WEB インターフェイスでシステムを表示するとき、および Ki Pro Mini のスクリーンセーバに表示するとき (70.1 Screen Saver で System Name が選択されている場合) に使用されます。

Date Set (55.4) : このパラメータは、Ki Pro Mini の内蔵クロックの日付を手動で設定します。

Time Set (55.6) : このパラメータは、Ki Pro Mini の内蔵クロックの時刻を手動で設定します。

Display Intensity (70.2) : このパラメータは、正面パネルの文字表示とボタンのバックライトの明るさを設定します。

Fan Speed (70.3) : このパラメータは、Ki Pro Mini 内蔵の冷却ファンの回転速度を設定します。Ki Pro Mini の近くでオーディオ収録が行われている状況など、ファンの速度を Quiet Auto または Quiet Record に設定したほうがよい場合があります。

Video SG Format (41.1): このパラメータは、Ki Pro Mini の内蔵テスト信号発生器が出力するビデオフォーマットを設定します。

Video SG (41.2): このパラメータは、Ki Pro Mini の内蔵テスト信号発生器が出力するビデオ信号を設定します。このパラメータは、パラメータ 41.1 と一緒に Ki Pro Mini が出力するビデオテスト信号のタイプを設定します。

Audio SG (41.3): このパラメータは、Ki Pro Mini の内蔵テスト信号発生器が出力するオーディオ信号 (OFF、無音、1 kHz トーン) を設定します。

1080 Playback (1.3): このパラメータは、ストレージで1080pメディアを再生するためのフォーマットを設定します。

Audio Channels (2.3): このパラメータは、SDI エンベデッドオーディオを2チャンネル、8チャンネルのどちらにするか選択します。一般にカメラで使用するトラック数は1チャンネルか2チャンネルなので、2チャンネルを選択します。ポストプロダクションでは多くのオーディオチャンネルが必要になるので、そのような場合は8チャンネルを選択します。Ki Pro Mini は、収録する QuickTime ファイルへのオーディオの記録を2チャンネルまたは8チャンネルのどちらかに限定しています。従って、ソースのオーディオが2チャンネル以上あり、8チャンネルより少ない場合は、CONFIGメニューのパラメータ2.3 AUDIO CHANNELSの設定は"8 Channels"にします。

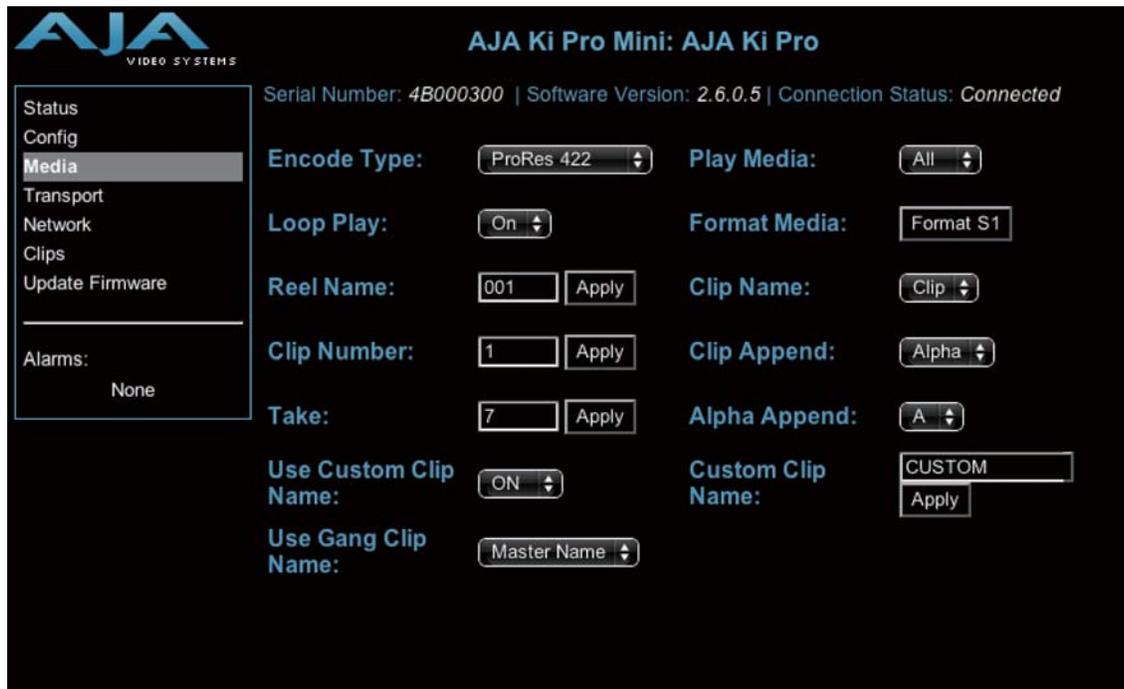
注意：

1. 全てのデバイスで8チャンネルオーディオをサポートしているわけではありません。Ki Pro Mini は8チャンネルのオーディオをミックスダウンして出力する機能は備えていません。従って8チャンネルの収録が必要な場合は、8チャンネルのSDIエンベデッドオーディオをサポートしているデバイスを使用してください。
2. 2.3 AUDIO CHANNELS で8 Channels を選択し、2.2 AUDIO INPUT の設定がSDI (XLR または HDMI) 以外の場合、警告メッセージ "Warning 2 Channel Format" が表示されます。2.2 AUDIO INPUT で SDI audio を選択するか、2.3 AUDIO CHANNELS で2 Channels を選択して、警告メッセージを消してください。

Camera Data (13.1): このパラメータは、カメラが発生するアンシラリデータの使用をコントロールします。カメラによっては、Ki Pro Mini で記録したいアンシラリデータを生成するものがあります。例えば、スタート/ストップコマンド、タイムコード、リール名、クリップ名、テイクなどです。NONE 以外を選択し、対応するカメラを使用し、適切なアンシラリデータを送出できる場合、カメラからのメタデータがKi Pro Mini のタイムコード値、ファイル名などのパラメータになります。詳細は、第3章 CONFIG パラメータの13.1 Camera Data をご覧ください。

## Media 画面

この画面では、CF カードのフォーマット、Apple ProRes 422 エンコードタイプ、リールやクリップの定義など、メディアに関連する様々な機能を設定します。



### Ki Pro Mini WEB インターフェイス、Media 画面

Encode Type (14.1) : このパラメータは、Apple ProRes エンコード方式を指定します。

Play Media (15.1): このパラメータは、再生時の動作を指定します。再生ボタンを押したときに、クリップをひとつだけ再生するか、すべてのクリップを再生するかを選択します。詳しくは、第3章のパラメータ 15.1 PLAY MEDIA を参照してください。

Loop Play (15.2) : このパラメータは、ループ再生を ON/OFF します。

Format Media (16.1): このパラメータは、現在選択されているCFカードをフォーマットするときに使用します。

Reel Name (17.0): リール名は、CFカードをMac OSXのデスクトップ上にマウントしたときに表示されるメディア名を定義する1～999の番号です。

Clip Name (17.2): このパラメータで、クリップに付加されるクリップ名を指定します。変更するまで、以後生成されるすべてのクリップに適用されます。クリップ名は、Clip または SC です。

Clip Number (17.3): このパラメータは、クリップ名に続くクリップ番号(1～999)を指定します。変更するまで、以後生成されるすべてのクリップに適用されます。

Clip Append (17.4) : このパラメータは、パラメータ 17.5 ALPHA APPEND と組み合わせて使用し、クリップ番号の後にアルファベットを付加するかどうかを決定します。

Take (17.8): このパラメータは、クリップ名、クリップ番号に続く、テイク番号(1～999)を指定します。ALPHA APPEND を選択した場合は、テイク番号の後に付加されます。変更するまで、以後生成されるすべてのクリップに適用されます。

Alpha Append (17.5) : このパラメータは、パラメータ 17.4 CLIP APPEND と組み合わせて使用し、クリップ番号の後にアルファベットを付加します。

Use Custom Clip Name (19.1): このパラメータは、カスタムクリップ名を使うかどうかを設定します。詳しくは、第3章の「カスタムクリップネーミング」を参照してください。

Custom Clip Name (19.2): このパラメータはカスタムクリップ名を入力するために使用します。入力した後、Apply ボタンをクリックし、名前を使用できるようにします。

Use Gang Clip Name (22.1): このパラメータは、複数の Ki Pro、Ki Pro Mini を使ったギャングレコーディング（本書の「複数の Ki Pro Mini のコントロール」を参照）を実行するとき使用します。ギャングレコーディングで、すべての Ki Pro でクリップ名を同じにしたいときは、プルダウン選択肢から "Master Name" を選択します。Ki Pro ごとにクリップ名を別々に設定したいときは、プルダウン選択肢から "Slave Name" を選択します。"Slave Name" を選択すると、収録は各 Ki Pro のパラメータで設定した名前で行われ、Master Ki Pro から送られてきた名前は受け付けません。詳しくは、第3章の「カスタムクリップネーミング」を参照してください。

## Transport 画面

この画面は、Ki Pro Mini の操作パネルにあるトランスポートボタンと同様に、収録、再生、早送り、巻き戻し、停止のコントロールに使用します。また、この画面には Ki Pro Mini の正面パネルのディスプレイに表示されるのと同じ内容が表示されますので、Ki Pro Mini オペレータやカメラマンが見ている表示をそのまま見ることができます。



Ki Pro Mini WEB インターフェイス、Transport 画面

STOP ■: 再生などのメディア操作 (PLAY、FF、REV、RECORD) を停止させるとき STOP を押します。停止すると、停止させたクリップの現在点が表示されます。1 回目に押したときは PAUSE (一時停止) ボタンとしての機能になります。もう 1 回押すと、Ki Pro Mini は E-to-E モードになります。

PLAY ▶: 現在のクリップを標準速度で正方向に再生するとき押します。

RECORD ●: 収録を開始するとき、赤い RECORD ボタンを押します。RECORD モードに入ると、STOP ボタンを除く他の動作ボタンはロックされます。

FFWD ▶▶: 押すと、現在のクリップの 2 倍速での高速再生が始まります。押すごとに、4 倍速、8 倍速、16 倍速に切り替わります。(16 倍速になったあとは、ボタンを押しても動作は切り替わりません。) 高速再生中は、オーディオはミュートされます。

REV ◀◀: 点灯していないときに押すと、現在のクリップの 1 倍速リバース再生が始まります。押すごとに、2 倍速、4 倍速、8 倍速、16 倍速に切り替わります。(16 倍速になったあとは、ボタンを押しても動作は切り替わりません。) リバース再生中は、再生速度に関わらずオーディオはミュートされます。

SELECT (up/down): トランスポートモードでは、SELECT ボタンは、クリップ選択の前キー、次キーとして機能します。クリップを選択すると、クリップの先頭が頭出しされます。クリップの再生順は、クリップの名称ではなく、タイムスタンプ (作成日時) に基づいて決定されます。

ADJUST (up/down): トランスポートモードで STOP モードになっているときは、ADJUST ボタンを押すごとに現在のクリップが 1 フレームずつフレーム送りされます (Up ボタン: 正方向、Down ボタン: 逆方向)。

DELETE CLIP: 現在選択されているクリップを削除するときのみ使用します。押すと、確認メッセージ "ARE YOU SURE?" が表示されます。

SLOT: このボタンには 2 つの用途があります。一つ目は、システムがアクセスする CF カードを選択します。二つ目は、現在選択している CF メディアをアンマウントするとき使用します。



**注意:**

CF カードを取り外す前に SLOT ボタンを使ってアンマウントしないと、CF カードに保存されたファイルに問題が起きる場合があります。

SLOT ボタンを押すごとに、メディアのアンマウント機能とメディア選択機能が切り替わります。この機能は STOP モードのときのみ有効で、停止していない場合には、"PRESS STOP TO CONFIRM" と警告が表示されます。スロットを選択すると、そのスロットで最後に選択されていたクリップとタイムコードの表示に戻ります。スロット内のメディアが最後に選択されていたものとは別のメディアに入れ替えられていた場合 (物理的に取り外し / メディアを交換) は、メディアの先頭クリップの開始ポイントが選択されます。装着されているメディアに問題がある場合は、状況に応じてメッセージが表示されます。

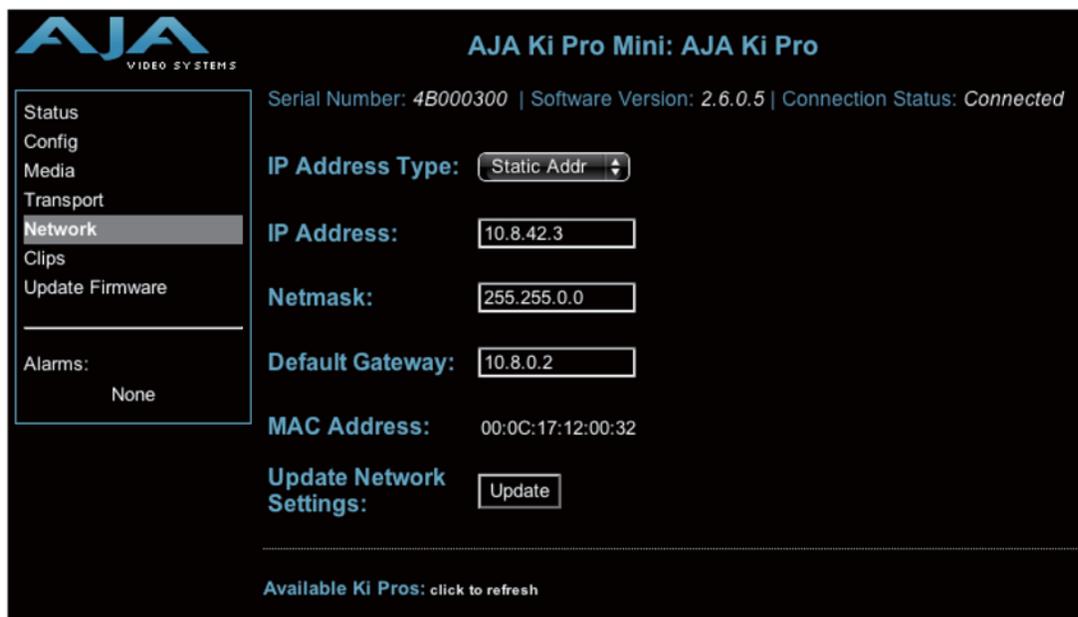
例: "WARNING FRMT MEDIA" または "WARNING MEDIA LOW."

Show Gang View: クリックすると Transport 画面が下のほうに広がり、複数の Ki Pro をコントロールするための項目が表示されます。本章前述の「ギャングレコーディング」を参照してください。

## Network 画面

この画面には、Ki Pro Mini の TCP/IP ネットワーク設定に必要なすべての情報が含まれています。WEB ブラウザが現在通信している Ki Pro Mini と同じ LAN 上にあるすべての Ki Pro Mini も表示されます。

**注:** Ki Pro Mini の IP アドレスとネットマスク領域は、キー入力を制限し、有効な文字のみ受け付けます。また、Ki Pro Mini は入力フォーマットが有効かどうかをチェックします。無効と判断された場合は、IP アドレスまたはネットマスクの背景が赤に変わります。これらの領域に無効な値が入力されている状態で Update ボタンをクリックすると、エラーメッセージが表示され、エラーを解消しないと更新できません。



### Ki Pro Mini WEB インターフェイス、Network 画面

IP Address Type (50.1): Ki Pro Mini の IP アドレスを変更するとき使用します。IP アドレスを入力して Update ボタンをクリックすると、IP アドレスが変更され、ブラウザは "redirecting to ..." を表示し、新しい IP アドレスにアクセスします。(新しいページのリンクをクリックして切り換えることもできます。)

IP Address (50.2): 使用している LAN と互換性のある IP アドレスがある場合は入力します。Ki Pro Mini をコンピュータにネットワーク接続しているときは、コンピュータの WEB ブラウザにこの IP アドレスを入力して、内蔵 WEB サーバから Ki Pro Mini の WEB インターフェイスを呼び出します。Update をクリックすると、Ki Pro Mini がここで入力した IP アドレスに更新されます。

Netmask (50.3): 使用している LAN と互換性のあるサブネットマスクがある場合は入力します。Update をクリックすると、Ki Pro Mini がここで入力した設定に更新されません。

Default Gateway (50.4): 使用している LAN のゲートウェイとルータの IP アドレスがあれば入力します。Update をクリックすると、Ki Pro Mini がここで入力した設定に更新されます。

Update Network Settings: このボタンをクリックすると、Ki Pro Mini はこの画面で入力された IP 情報に更新されます。

Available Ki Pros- click to refresh: 現在の Ki Pro Mini と同じ LAN に接続されているすべての Ki Pro Mini と Ki Pro が、この行の下にリスト表示されます（下記の「注」を参照）。LAN 上のすべての Ki Pro Mini のシリアル番号または定義されたシステム名（パラメータ 50.5 参照）がリスト表示されます。いずれかをクリックすると、対応する Ki Pro Mini の STATUS 画面が表示されます。

**注：** コントロールしている Ki Pro Mini のソフトウェアのバージョンが異なる場合は、表示される画面が異なる場合があります。一般的には、使用する Ki Pro Mini はすべて同じバージョンの最新ソフトウェアで動作させることをお勧めします。

デフォルトゲートウェイが正しく設定されていないと（ルータ / ゲートウェイの有無にかかわらず）、Available Ki Pros: click to refresh が正しく動作しない場合があります。

**注：** 表示されている Ki Pro Mini はキャッシュされるため、LAN 上のすべての Ki Pro Mini のリアルタイムの状況が反映されていない場合があります。Ki Pro Mini がネットワークに追加されたり、ネットワークから外されたときは、Available Ki Pros リストに反映されるまでに多少時間がかかる場合があります。ネットワークの現在の状態を見たい（キャッシュをクリアしてリアルタイムの状態を表示させる）ときは、キーボードの Control キーを押しながら Available Ki Pros: click to refresh をクリックします。

## Clips 画面

この画面では、SLOT ボタン (Transport 画面参照) を押して選択した CF カード上の全クリップを一目で見ることができます。

この画面では、リスト表示されたクリップを、ひとつずつまたはまとめて削除することができます。Refresh ボタンを使用すると、WEB 画面のキャッシュを更新して、Ki Pro Mini の最新の状態を表示させることができます。

**AJA Ki Pro Mini: AJA Ki Pro**

Serial Number: 4B000300 | Software Version: 2.6.0.5 | Connection Status: Connected

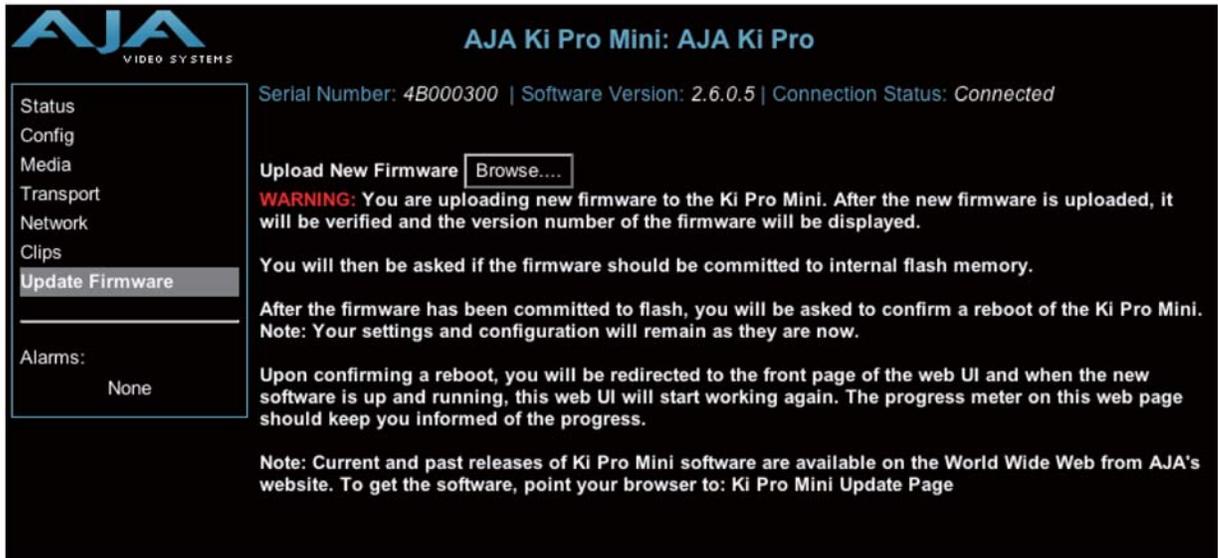
Select: All, None  
Reel: 001 S1 (94%)

<input type="checkbox"/> Clip1ATK1	1080i 29.97	00:00	05/04/11 08:13:19
<input type="checkbox"/> Clip1ATK2	1080i 29.97	00:00	05/04/11 08:13:22
<input type="checkbox"/> Clip1ATK3	1080i 29.97	00:00	05/04/11 08:13:24
<input type="checkbox"/> Clip1ATK4	1080i 29.97	00:00	05/04/11 08:13:25
<input type="checkbox"/> Clip1ATK5	1080i 29.97	00:00	05/04/11 08:13:28
<input type="checkbox"/> Clip1ATK6	1080i 29.97	03:31	05/04/11 08:18:07

Ki Pro Mini WEB インターフェイス、Clips 画面

## Update Firmware 画面

Update Firmware 画面を使用すると、AJA が発行して WEB サイトに掲載している最新ソフトウェアにバージョンアップすることができます。ソフトウェアのバージョンアップでは、新しい機能や改良、役に立つ情報が加えられます。時間のあるときに WEB サイトを確認することをお勧めします。



Ki Pro Mini WEB インターフェイス、Update Firmware 画面

### ソフトウェア更新の準備

Ki Pro Mini には工場出荷時にソフトウェアがプリインストールされていますが、AJA の WEB サイトに掲載されている最新版ではない場合があります。ここでは、Ki Pro Mini のソフトウェアのバージョンアップ手順を説明します。

1. 最新の Ki Pro Mini ソフトウェアをダウンロードします。

現在までにリリースされた Ki Pro Mini のソフトウェアは、AJA の WEB サイトから世界中で入手できます。ソフトウェアを入手するには、ブラウザで下記にアクセスします：

<http://www.aja.com/support/ki-pro/ki-pro-mini.php>

<http://www.aja-jp.com/download/software/kipromini/>

このサイトへは Update Firmware 画面（後述）の最終行もリンクしています。アップデートページが表示されたら、Ki Pro Mini ソフトウェアファイルを選択し、Mac または PC にダウンロードして、Ki Pro Mini をバージョンアップします。

2. ソフトウェアを解凍します。

Ki Pro Mini のソフトウェアアップデートファイルは zip ファイルです。一般の標準解凍ソフトを使って解凍してください。Ki Pro Mini にインストールするソフトウェアは、kipro\_ver\_1.0.1.0.bin などの名前のファイルとして表示されます。

**注：** PC または Mac の OS の設定によっては、拡張子 ".bin" はファイルディレクトリ上で表示されない場合があります。

## Ki Pro mini にソフトウェアをアップロードしてインストールするには

Ethernet 接続した PC または Mac で Ki Pro を表示できれば、Ki Pro Mini のアップデート用ソフトウェアのアップロードとインストールが可能です。次の手順でソフトウェアをインストールします。

1. Ki Pro Mini の WEB ページの左側にあるナビゲーションボックス下部の Update Firmware をクリックして、Ki Pro Mini のアップデートページを表示します。
2. Browse... ボタンをクリックし、あらかじめダウンロードしたファイルを選択します。  
例：AJA からダウンロードした zip ファイル内の kipro\_ver\_1.0.1.0.bin
3. ダウンロードされた有効な Ki Pro Mini ファイルを選択し、WEB ブラウザの Upload ボタンをクリックします。選択したファイルが Ki Pro Mini にアップロードされ、有効性がチェックされます。不完全だったり、壊れていたり、Ki Pro Mini のソフトウェアでない場合は拒否されます。
4. 完了するまで数分ほど待ちます。完了後は、Ki Pro Mini の再起動が必要です。再起動後、Ki Pro Mini は新しいソフトウェアで動作します。正面パネルに進捗状況が表示されます。
5. 以上の手順が完了すると、Ki Pro Mini は、次にアップデートするまで、このソフトウェアで動作します。アップデート前の Ki Pro Mini の設定は保持されます。

Ki Pro Mini の WEB ページで新しいソフトウェアが動作していることを確認してください。ソフトウェアのバージョンは Ki Pro Mini のすべての WEB 画面の一番上に表示されます。何らかの理由でアップデートされていなかった場合は、上記の手順をもう一度やりなおしてください。

**注：** ブラウザによっては、ソフトウェアがアップデートされていても Retry ページが表示されることがあります。そのような場合は、再度アップデートする前に、一度 WEB ページをリフレッシュしてバージョンを確認してください。ページ上部に新しいバージョン番号が表示されている場合は、ソフトウェアのアップデートは成功しています。バージョンが古い場合は、Retry をクリックしてください。

ソフトウェアのダウンロード中に電源供給が途切れた場合、Ki Pro Mini は古いバージョンのソフトウェアを起動します。アップデートを最初からやり直してください。Ki Pro Mini の安全重視の設計により、アップデートが失敗したときのために、常にひとつ前のソフトウェアのコピーを保持します。



### 注意：

Ki Pro Mini をバージョンアップするときは、AC 電源またはフル充電したバッテリーのご使用をお勧めします。



## 付録 A : 仕様

### ビデオ入力

デジタル : SD/HD-SDI (BNC コネクタ × 1)、SMPTE-259/292/296  
HDMI v1.3

### ビデオ出力 (すべて同時出力可能)

デジタル : SD/HD-SDI、SMPTE-259/292/296 (BNC コネクタ × 1)  
HDMI

### フォーマット

525i 29.97	
625i 25	1080i 25
720p 23.98 (VFR 59.94 まで対応)	1080i 29.97
720p 25 (VFR 50 まで対応)	1080i 30
720p 29.97 (VFR 59.94 まで対応)	1080PsF 23.98
720p 50	1080PsF 24
720p 59.94	1080PsF 23.98
720p 60	1080p 24
	1080p 29.97

### オーディオ入力

デジタル : 24 ビット SDI エンベデッドオーディオ、8 チャンネル、48kHz  
HDMI エンベデッド 2 チャンネル

アナログ : 24 ビット A/D、2 チャンネルバランスド (XLR コネクタ × 2)、48kHz  
入力レベル : Line、Mic、Mic + phantom 48V dc  
オーディオ出力

デジタル : 24 ビット SDI エンベデッドオーディオ、8 チャンネル、48kHz  
HDMI エンベデッド 8 チャンネル

A

## オーディオ出力

デジタル : 24 ビット SDI エンベデッドオーディオ、8 チャンネル、48kHz  
HDMI エンベデッド 2 チャンネル

## ネットワーク

10/100/1000 Ethernet (RJ45)  
リモートコントロール用エンベデッド WEB サーバ

## パネル表示 (UI)

LCD 画面、3 行、専用ボタン付き (15 個)

## ストレージ

コンパクトフラッシュ (CF) メディア、2 スロット、取り出しボタン、メディアの状態を LED 表示

最新の推奨 CF カードについては AJA の WEB サイトをご覧ください。

[http://www.aja.com/pdf/KiProMini\\_qualifiedCF\\_cards.pdf](http://www.aja.com/pdf/KiProMini_qualifiedCF_cards.pdf)

## タイムコード

LTC タイムコード入力 (BNC 経由)  
SDI エンベデッド RP188 タイムコード

## コントロール

LANC ループ (LANC コネクタ × 2)

## 温度

動作温度範囲 : 5 °C ~ 40 °C  
保存温度 (電源 OFF) : -20 °C ~ 60 °C

## 電源

電圧 : 100 ~ 240 V AC (AC アダプタ使用時)  
12 V DC (底面の電源入力コネクタ)  
最小 12 V DC  
最大 18 V DC

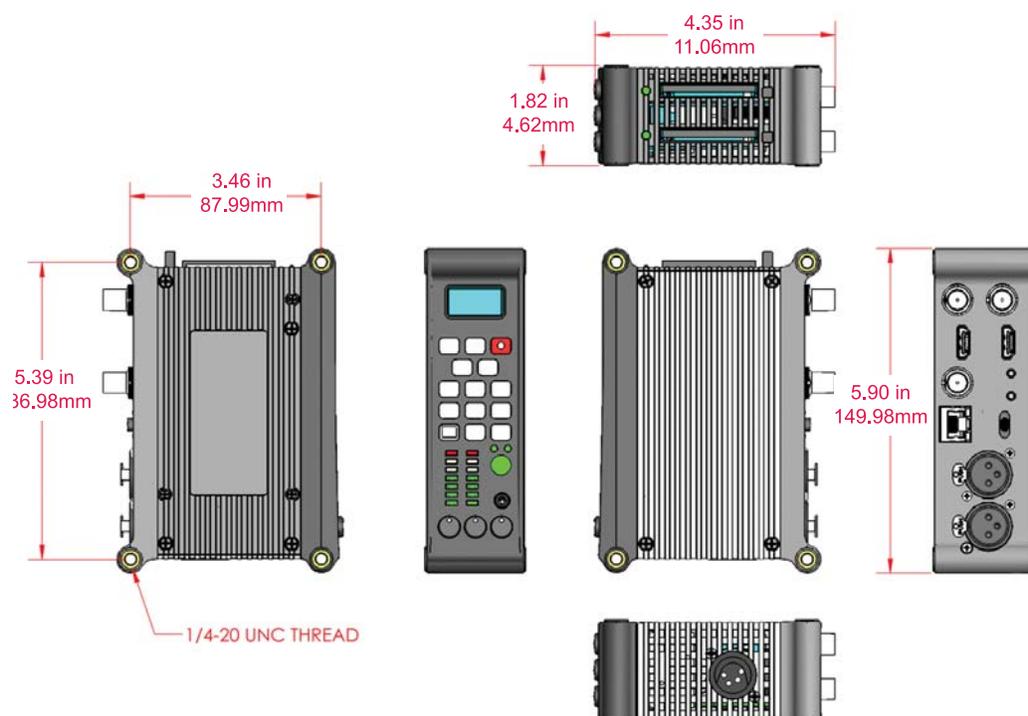
電流 : 1.5A (max.)

電源 : 18W (12V DC)

## 寸法・重さ

重さ : 1.262 ポンド (0.572 kg)

寸法 : 下図参照





## 付録 B : 安全とコンプライアンス

### Federal Communications Commission (FCC) Compliance Notices

---

#### Class A Interference Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15, Subpart B of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a commercial installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

#### FCC Caution

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

### Canadian ICES Statement

---

Canadian Department of Communications Radio Interference Regulations

This digital apparatus does not exceed the Class A limits for radio-noise emissions from a digital apparatus as set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications. This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Règlement sur le brouillage radioélectrique du ministère des Communications

Cet appareil numérique respecte les limites de bruits radioélectriques visant les appareils numériques de classe A prescrites dans le Règlement sur le brouillage radioélectrique du ministère des Communications du Canada. Cet appareil numérique de la Classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

**B**

## European Union and European Free Trade Association (EFTA) Regulatory Compliance

This equipment may be operated in the countries that comprise the member countries of the European Union and the European Free Trade Association. These countries, listed in the following paragraph, are referred to as The European Community throughout this document:

AUSTRIA, BELGIUM, BULGARIA, CYPRUS, CZECH REPUBLIC, DENMARK, ESTONIA, FINLAND, FRANCE, GERMANY, GREECE, HUNGARY, IRELAND, ITALY, LATVIA, LITHUANIA, LUXEMBOURG, MALTA, NETHERLANDS, POLAND, PORTUGAL, ROMANIA, SLOVAKIA, SLOVENIA, SPAIN, SWEDEN, UNITED KINGDOM, ICELAND, LICHTENSTEIN, NORWAY, SWITZERLAND

### Declaration of Conformity

Marking by this symbol indicates compliance with the Essential Requirements of the EMC Directive of the European Union 2004/108/EC.



This equipment meets the following conformance standards:

#### Safety:

CB- IEC 60065:2001 + A1:2005

NRTL - UL 60065:2003 R11.06, CSA C22.2 NO. 60065:2003 + A1:06

GS - EN 60065:2002 + A1

Additional licenses issued for specific countries available on request.

#### Emissions:

EN 55103-1: 1996

EN61000-3-2:2006, EN61000-3-3:1995 +A1:2001 +A2:2005

#### Immunity:

EN 55103-2: 1996

EN61000-4-2:1995 + A1:1999 + A2:2001, EN61000-4-3:2006,  
EN61000-4-4:2004, EN 61000-4-5: 2005, EN 61000-4-6:2007,  
EN61000-4-11:2004

The product is also licensed for additional country specific standards as required for the International Marketplace.

#### Warning!



This is a Class A product. In a domestic environment, this product may cause radio interference, in which case, the user may be required to take appropriate measures.

**Achtung!** Dieses ist ein Gerät der Funkstörgrenzwertklasse A. In Wohnbereichen können bei Betrieb dieses Gerätes Rundfunkstörungen auftreten, in welchen Fällen der Benutzer für entsprechende Gegenmaßnahmen verantwortlich ist.

**Attention!** Ceci est un produit de Classe A. Dans un environnement domestique, ce produit risque de créer des interférences radioélectriques, il appartiendra alors à l'utilisateur de prendre les mesures spécifiques appropriées.

## Korea KCC Compliance Statement

### 1) Class A ITE

A급 기기 (업무용 방송통신기기)	이 기기는 업무용 (A 급) 으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.
-----------------------	---

### 1) Class A device

Class A (Broadcasting and Communication Equipment for Business Use)	Please note that this equipment has obtained EMC registration for business use (Class A), and it is intended to use in other than home area.
--	--

## Taiwan Compliance Statement

警告使用者：  
這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

This is a Class A product based on the standard of the Bureau of Standards, Metrology and Inspection (BSMI) CNS 13438, Class A.

## コンプライアンス（日本）

### 1. Class A ITE

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

This is a Class A product based on the standard of the VCCI Council (VCCI V-3/2008.04). If this equipment is used in a domestic environment, radio interference may occur, in which case, the user may be required to take corrective actions.

## 注意、警告、危険メッセージの標記

本機および本書では、以下のマークで警告、危険、注意についての情報を記述しています。



警告



危険



注意

## Ki Pro Mini をお使いになる前に

以下の指示をよくお読みください。



### 警告！

製品にマークされたり文書に記載されている注意や指示にはすべて従ってください。

### Warning!

Read and follow all warning notices and instructions marked on the product or included in the documentation.

**Avertissement !** Lisez et conformez-vous à tous les avis et instructions d'avertissement indiqués sur le produit ou dans la documentation.

**Warnung!** Lesen und befolgen Sie die Warnhinweise und Anweisungen, die auf dem Produkt angebracht oder in der Dokumentation enthalten sind.

**¡Advertencia!** Lea y siga todas las instrucciones y advertencias marcadas en el producto o incluidas en la documentación.

**Aviso!** Leia e siga todos os avisos e instruções assinalados no produto ou incluídos na documentação.

**Avviso!** Leggere e seguire tutti gli avvisi e le istruzioni presenti sul prodotto o inclusi nella documentazione.



### 警告！

本機を水の近くで使用しないでください。拭くときは必ず乾いた布を使用してください。

### Warning!

Do not use this device near water and clean only with a dry cloth.

**Avertissement!** N'utilisez pas cet appareil près de l'eau et nettoyez-le seulement avec un tissu sec..

**Warnung!** Das Gerät nicht in der Nähe von Wasser verwenden und nur mit einem trockenen Tuch säubern.

**¡Advertencia!** No utilice este dispositivo cerca del agua y límpielo solamente con un paño seco.

**Aviso!** Não utilize este dispositivo perto da água e limpe-o somente com um pano seco.

**Avviso!** Non utilizzare questo dispositivo vicino all'acqua e pulirlo soltanto con un panno asciutto.



**警告！**

通風孔をふさがないでください。メーカーの指示に従って設置してください。

**Warning!**

Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.

**Avertissement !** Ne bloquez aucune ouverture de ventilation. Suivez les instructions du fabricant lors de l'installation.

**Warnung!** Die Lüftungsöffnungen dürfen nicht blockiert werden. Nur gemäß den Anweisungen des Herstellers installieren.

**¡Advertencia!** No bloquee ninguna de las aberturas de la ventilación. Instale de acuerdo con las instrucciones del fabricante.

**Aviso!** Não obstrua nenhuma das aberturas de ventilação. Instale de acordo com as instruções do fabricante.

**Avviso!** Non ostruire le aperture di ventilazione. Installare in conformità con le istruzioni del fornitore.



**警告！**

ラジエータやストーブ、アンプなど、熱を発生する機器の近くに設置しないでください。

**Warning!**

Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.

**Avertissement !** N'installez pas l'appareil près d'une source de chaleur telle que des radiateurs, des bouches d'air de chauffage, des fourneaux ou d'autres appareils (amplificateurs compris) qui produisent de la chaleur.

**Warnung!** Nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern, Heizregistern, Öfen oder anderen Wärme erzeugenden Geräten (einschließlich Verstärkern) aufstellen.

**¡Advertencia!** No instale cerca de fuentes de calor tales como radiadores, registros de calor, estufas u otros aparatos (incluidos amplificadores) que generan calor.

**Aviso!** Não instale perto de nenhuma fonte de calor tal como radiadores, saídas de calor, fogões ou outros aparelhos (incluindo amplificadores) que produzam calor.

**Avviso!** Non installare vicino a fonti di calore come termosifoni, diffusori di aria calda, stufe o altri apparecchi (amplificatori compresi) che emettono calore.

**警告！**

修理は AJA サービスセンターまたは AJA 販売代理店にご依頼ください。電源コードやプラグが破損したとき、水がかかったり異物が内部に入ってしまったとき、雨や湿気にさらされたとき、正しく動作しないとき、また落としてしまったときなど、製品が破損したときは、状況によらず修理が必要です。

**Warning!**

Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the device has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the device, the device has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.

**Avertissement !** Référez-vous au personnel de service qualifié pour tout entretien.

L'entretien est exigé quand l'appareil a été endommagé de quelque manière que ce soit, par exemple lorsque le cordon d'alimentation ou la prise sont endommagés, que du liquide a été versé ou des objets sont tombés dans l'appareil, que l'appareil a été exposé à la pluie ou à l'humidité, ne fonctionne pas normalement ou est tombé.

**Warnung!** Das Gerät sollte nur von qualifizierten Fachkräften gewartet werden. Eine Wartung ist fällig, wenn das Gerät in irgendeiner Weise beschädigt wurde, wie bei beschädigtem Netzkabel oder Netzstecker, falls Flüssigkeiten oder Objekte in das Gerät gelangen, das Gerät Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt wurde, nicht ordnungsgemäß funktioniert oder fallen gelassen wurde.

**¡Advertencia!** Consulte al personal calificado por cuestiones de reparación. El servicio de reparación se requiere cuando el dispositivo ha recibido cualquier tipo de daño, por ejemplo cable o espigas dañadas, se ha derramado líquido o se han caído objetos dentro del dispositivo, el dispositivo ha sido expuesto a la lluvia o humedad, o no funciona de modo normal, o se ha caído.

**Aviso!** Remeta todos os serviços de manutenção para o pessoal de assistência qualificado. A prestação de serviços de manutenção é exigida quando o dispositivo foi danificado mediante qualquer forma, como um cabo de alimentação ou ficha que se encontra danificado/a, quando foi derramado líquido ou caíram objectos sobre o dispositivo, quando o dispositivo foi exposto à chuva ou à humidade, quando não funciona normalmente ou quando foi deixado cair.

**Avviso!** Fare riferimento al personale qualificato per tutti gli interventi di assistenza. L'assistenza è necessaria quando il dispositivo è stato danneggiato in qualche modo, ad esempio se il cavo di alimentazione o la spina sono danneggiati, è stato rovesciato del liquido è stato rovesciato o qualche oggetto è caduto nel dispositivo, il dispositivo è stato esposto a pioggia o umidità, non funziona correttamente o è caduto.

**注意：**

本機はクラス A 製品です。本装置を住宅地で使用すると、電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

**Caution!**

This device is a Class A product. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to take whatever measures may be necessary to correct the interference at their own expense.

**Attention!** Le périphérique est un produit de Classe A. Le fonctionnement de cet équipement dans une zone résidentielle risque de causer des interférences nuisibles, auquel cas l'utilisateur devra y remédier à ses propres frais.

**Achtung!** Dies ist ein Gerät der Klasse A. Bei Einsatz des Geräts in Wohngebieten kann es Störungen des Radio- und Fernsehempfangs verursachen. In diesem Fall muss der

Benutzer alle notwendigen Maßnahmen ergreifen, die möglicherweise nötig sind, um die Störungen auf eigene Rechnung zu beheben.

**¡Precaución!** Este es un producto clase A. El uso de este equipo en áreas residenciales puede causar interferencias nocivas, en cuyo caso, se requerirá que los usuarios tomen cualquier medida necesaria para corregir la interferencia por cuenta propia.

**Cuidado!** Este dispositivo é um produto Classe A. Operar este equipamento em uma área residencial provavelmente causará interferência prejudicial; neste caso, espera-se que os usuários tomem as medidas necessárias para corrigir a interferência por sua própria conta.

**Attenzione!** Questo dispositivo è un prodotto di Classe A. Il funzionamento di questo apparecchio in aree residenziali potrebbe causare interferenze dannose, nel cui caso agli utenti verrà richiesto di adottare tutte le misure necessarie per porre rimedio alle interferenze a proprie spese.



**警告 :**

Ki Pro Mini を移動するときは、外部 AC 電源のコードを主電源から抜いてください。

**Warning!**

Disconnect the external AC power supply line cord(s) from the mains power before moving the unit.

**Avertissementp!** Retirez le ou les cordons d'alimentation en CA de la source d'alimentation principale lorsque vous déplacez l'appareil.

**Warnung!** Trennen Sie die Wechselstrom-Versorgungskabel vom Netzstrom, bevor Sie das Gerät verschieben.

**¡Advertencia!** Cuando mueva la unidad desenchufe de la red eléctrica el/los cable(s) de la fuente de alimentación CA tipo brick.

**Advertência!** Remova os cabos CA de alimentação brick da rede elétrica ao mover a unidade.

**Avvertenza!** Scollegare il cavo dell'alimentatore quando si sposta l'unità.



**危険 !**

高電圧 : 感電により怪我をする危険があります。

**Hazard Warning!**

High Voltage. This situation or condition can cause injury due to electric shock.

**Avertissement !** Tension élevée. Cette situation ou condition peut causer des blessures dues à un choc électrique.

**Warnung!** Hochspannung. Diese Situation oder Bedingung kann zu Verletzungen durch Stromschlag führen.

**¡Advertencia!** Alto voltaje . Esta situación o condición puede causar lesiones debidas a una descarga eléctrica.

**Aviso!** Alta Tensão . Esta situação ou condição pode causar danos devido a choques elétricos.

**Avviso!** Alta tensione. Questa situazione o condizione può causare lesioni a causa di scosse elettriche.

**警告！**

製造元が指定・販売しているアタッチメントやアクセサリ以外は使用しないでください。

**Warning!**

Only use attachments and accessories specified and/or sold by the manufacturer.

**Avertissement !** Utilisez seulement les attaches et accessoires spécifiés et/ou vendus par le fabricant.

**Warnung!** Verwenden Sie nur Zusatzgeräte und Zubehör angegeben und / oder verkauft wurde durch den Hersteller.

**¡Advertencia!** Utilice solamente los accesorios y conexiones especificados y/o vendidos por el fabricante.

**Aviso!** Utilize apenas equipamentos/acessórios especificados e/ou vendidos pelo fabricante.

**Avviso!** Utilizzare soltanto i collegamenti e gli accessori specificati e/o venduti dal produttore.

**警告！**

安全のため必ずアース接続を行ってください。極性プラグの 2 枚のブレードは、片方がもう片方より幅が広がっています。アースタイプのプラグには 2 枚のブレードと、アース用金属棒があります。幅の広いブレードと金属棒は、安全対策用です。プラグが既存のコンセントに差し込めない場合は、コンセントの交換を電気工事業者にご依頼ください。

**Warning!**

Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.

**Avertissement !** La sécurité de la prise polarisée ou de la prise de type mise à la terre ne doit en aucun cas être empêchée de fonctionner. Une prise polarisée a deux broches, l'une étant plus large que l'autre. Une prise de type mise à la terre a deux broches et une troisième broche pour la mise à la terre. La broche large ou la troisième broche sont fournies pour votre sécurité. Si la prise fournie ne s'insère pas dans votre prise femelle, consultez un électricien pour le remplacement de la prise femelle obsolète.

**Warnung!** Der Sicherheitszweck des gepolten bzw. Schukosteckers ist zu berücksichtigen. Ein gepolter Stecker verfügt über zwei Pole, von denen einer breiter als der andere ist. Ein Schukostecker verfügt neben den zwei Polen noch über einen dritten Pol zur Erdung. Der breite Pol bzw. der Erdungspol dienen der Sicherheit. Wenn der zur Verfügung gestellte Stecker nicht in Ihren Anschluss passt, konsultieren Sie einen Elektriker, um den veralteten Anschluss zu ersetzen.

**¡Advertencia!** No eche por tierra la finalidad del tipo de enchufe polarizado con conexión a tierra. Un enchufe polarizado tiene dos espigas, una más ancha que la otra. Un enchufe con conexión a tierra tiene dos espigas iguales y una tercera espiga que sirve para la conexión a tierra. La espiga ancha, o la tercera espiga, sirven para su seguridad. Si el enchufe suministrado no encaja en el tomacorriente, consulte con un electricista para reemplazar el tomacorriente obsoleto.

**Aviso!** Não anule a finalidade da segurança da ficha polarizada ou do tipo ligação terra. Uma ficha polarizada tem duas lâminas sendo uma mais larga do que a outra. Uma ficha

do tipo de ligação à terra tem duas lâminas e um terceiro terminal de ligação à terra. A lâmina larga ou o terceiro terminal são fornecidos para sua segurança. Se a ficha fornecida não couber na sua tomada, consulte um electricista para a substituição da tomada obsoleta.

**Avviso!** Non compromettere la sicurezza della spina polarizzata o con messa a terra. Una spina polarizzata ha due spinotti, di cui uno più largo. Una spina con messa a terra ha due spinotti e un terzo polo per la messa a terra. Lo spinotto largo o il terzo polo sono forniti per motivi di sicurezza. Se la spina fornita non si inserisce nella presa di corrente, contattare un elettricista per la sostituzione della presa obsoleta.



**警告!**

電源プラグは、機器の電源を落とすために使用しますので、手が届きやすく抜き差ししやすい状態にしておいてください。

**Warning!**

Since the Mains plug is used as the disconnection for the device, it must remain readily accessible and operable.

**Avertissement !** Puisque la prise principale est utilisée pour débrancher l'appareil, elle doit rester aisément accessible et fonctionnelle.

**Warnung!** Da der Netzstecker als Trennvorrichtung dient, muss er stets zugänglich und funktionsfähig sein.

**¡Advertencia!** Puesto que el enchufe de la red eléctrica se utiliza como dispositivo de desconexión, debe seguir siendo fácilmente accesible y operable.

**Aviso!** Dado que a ficha principal é utilizada como a desconexão para o dispositivo, esta deve manter-se prontamente acessível e funcional.

**Avviso!** Poiché il cavo di alimentazione viene usato come dispositivo di sconnessione, deve rimanere prontamente accessibile e operabile.



**警告!**

電源コード、特にプラグ部分、コンセントや機器に近い部分が、踏まれたり、何かにはさまれたりしないように保護してください。

**Warning!**

Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the device.

**Avertissement !** Protégez le cordon d'alimentation pour que l'on ne marche pas dessus ou qu'on le pince, en particulier au niveau des prises mâles, des réceptacles de convenance, et à l'endroit où il sort de l'appareil.

**Warnung!** Es muss verhindert werden, auf das Netzanschlusskabel zu treten oder dieses zu knicken, besonders an den Steckern, den Steckerbuchsen und an dem Punkt, an dem das Kabel aus dem Gerät austritt.

**¡Advertencia!** Puesto que el enchufe de la red eléctrica se utiliza como dispositivo de desconexión, debe seguir siendo fácilmente accesible y operable.

**Aviso!** Proteja o cabo de alimentação de ser pisado ou de ser comprimido particularmente nas fichas, em tomadas de parede de conveniência e no ponto de onde sai do dispositivo.

**Avviso!** Proteggere il cavo di alimentazione in modo che nessuno ci cammini sopra e che non venga schiacciato soprattutto in corrispondenza delle spine e del punto in cui

esce dal dispositivo.

**警告！**

雷が鳴っているときや長時間使用しないときは、接続を外してください。

**Warning!**

Unplug this device during lightning storms or when unused for long periods of time.

**Avertissement !** Débranchez cet appareil pendant les orages avec éclairs ou s'il est inutilisé pendant de longues périodes.

**Warnung!** Das Gerät ist bei Gewitterstürmen oder wenn es über lange Zeiträume ungenutzt bleibt vom Netz zu trennen.

**¡Advertencia!** Desenchufe este dispositivo durante tormentas eléctricas o cuando no se lo utilice por largos periodos del tiempo.

**Aviso!** Desconecte este dispositivo da tomada durante trovoadas ou quando não é utilizado durante longos períodos de tempo.

**Avviso!** Utilizzare soltanto i collegamenti e gli accessori specificati e/o venduti dal produttore, quali il treppiedi e l'esoscheletro.

**警告！**

外装を開けないでください。内部にはユーザーが調整したり修理できる部分はありません。AJA のサービスセンターまたはライセンスのある機関以外の人がシャーシを開けると、保障が無効になります。

**Warning!**

Do not open the chassis. There are no user-serviceable parts inside. Opening the chassis will void the warranty unless performed by an AJA service center or licensed facility.

**Avertissement!** Ne pas ouvrir le châssis. Aucun élément à l'intérieur du châssis ne peut être réparé par l'utilisateur. La garantie sera annulée si le châssis est ouvert par toute autre personne qu'un technicien d'un centre de service ou d'un établissement agréé AJA.

**Warnung!** Öffnen Sie das Gehäuse nicht. Keine der Geräteteile können vom Benutzer gewartet werden. Durch das Öffnen des Gehäuses wird die Garantie hinfällig, es sei denn, solche Wartungsarbeiten werden in einem AJA-Service-Center oder einem lizenzierten Betrieb vorgenommen.

**¡Advertencia!** No abra el chasis. El interior no contiene piezas reparables por el usuario. El abrir el chasis anulará la garantía a menos que se lo haga en un centro de servicio AJA o en un local autorizado.

**Advertência!** Não abra o chassi. Não há internamente nenhuma peça que permita manutenção pelo usuário. Abrir o chassi anula a garantia, a menos que a abertura seja realizada por uma central de serviços da AJA ou por um local autorizado.

**Avvertenza!** Non aprire lo chassis. All'interno non ci sono parti riparabili dall'utente. L'apertura dello chassis invaliderà la garanzia se non viene effettuata da un centro ufficiale o autorizzato AJA.